

# CCTVFAQ

## デジタルレコーダ編

# 目次

<b>1.</b>	<b>SDR-108HV、116HV、SDR-208HV、216HV</b> .....	<b>1</b>
1-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	1
1-2	電源切/入の方法	1
1-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	3
1-4	録画映像を再生する	6
1-5	ハードディスクの状態を確認する	9
1-6	ハードディスクをフォーマットする	11
1-7	時刻を修正する	15
1-8	別のユーザーでログインする	17
<b>2.</b>	<b>SDR-209、SDR-209F</b> .....	<b>18</b>
2-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	18
2-2	電源切/入の方法	18
2-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	19
2-4	SDR-209	19
<b>3.</b>	<b>SDR-209A、SDR-209AF</b> .....	<b>25</b>
3-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	25
3-2	電源切/入の方法	25
3-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	26
<b>4.</b>	<b>SDR-409、SDR-409D、SDR-416D</b> .....	<b>29</b>
4-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	29
4-2	電源切/入の方法	29
4-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	30
4-4	メディアの初期化	33
4-5	マウスの使用	34
<b>5.</b>	<b>SDR-200</b> .....	<b>35</b>
5-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	35
5-2	電源切/入の方法	35
5-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	35
<b>6.</b>	<b>SDR-250</b> .....	<b>37</b>
6-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	37
6-2	電源切/入の方法	37
6-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	38
<b>7.</b>	<b>SDR-301、SDR-304</b> .....	<b>39</b>
7-1	パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値	39
7-2	電源切/入の方法	39
7-3	録画映像のバックアップ(コピー)方法	40
<b>8.</b>	<b>ACアダプタの型名</b> .....	<b>46</b>
8-1	SDR-409、409D、416D	46
8-2	SDR-108HV、SDR-116HV、SDR-208HV、SDR-216HV	46
8-3	ULM-173、ULM-193	46
8-4	変換ケーブル	46

# 1. SDR-108HV、116HV、SDR-208HV、216HV

## 1-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

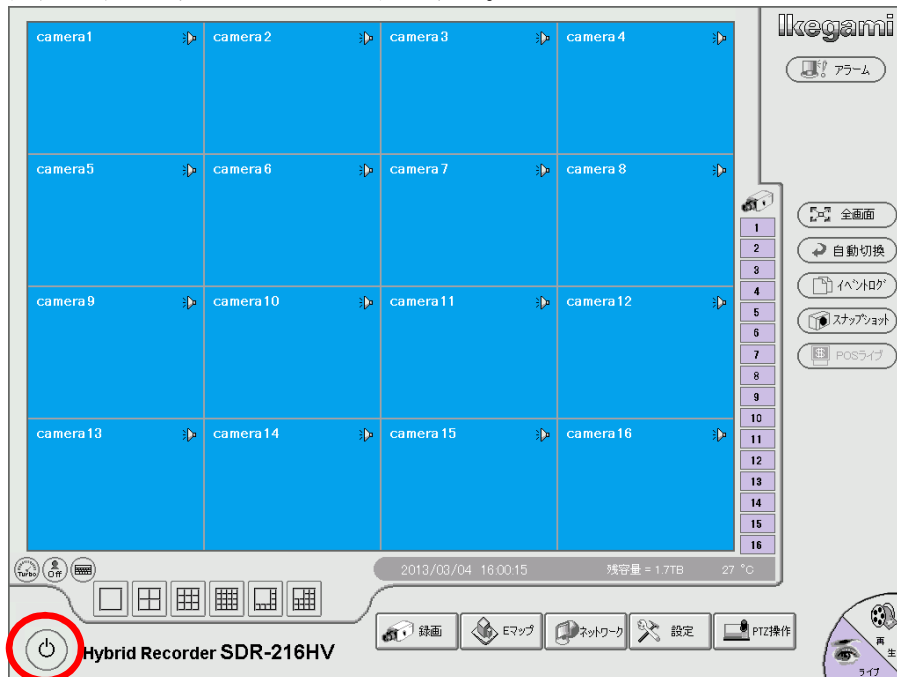
録画、ネットワーク、設定のメニューに入るためにはパスワードが必要。

ID	パスワード	説明
superuser	111111	1を6回

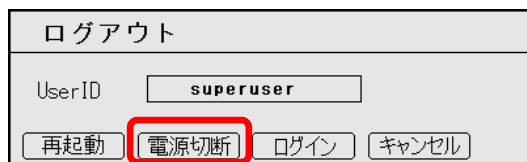
## 1-2 電源切/入の方法

### (1) 電源を切る。

画面左下の電源ボタンをクリックする。



### (2) ログアウト画面が表示される。[電源切断]をクリックする。



### (3) ログイン画面が表示される。

キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。

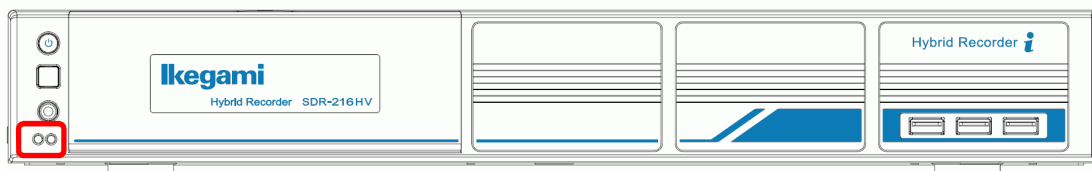
仮想キーボードでパスワードを入力する。

工場設定のパスワードは 111111(半角 1 を 6 回)。

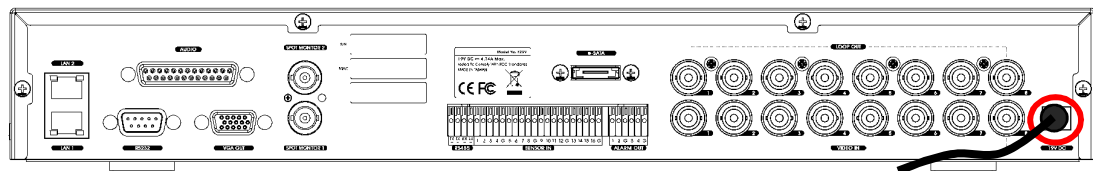
[OK]をクリックする。



- (4) 終了処理が始まり、暫くすると電源が切れる。  
本体の青 LED が消灯し、モニター画面が消える。

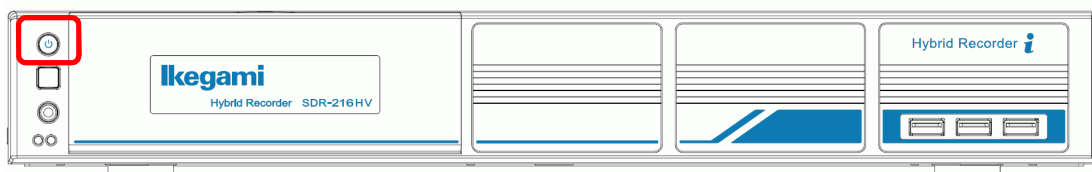


- (5) メイン電源を切る。  
本体背面右下の 19V DC 端子から電源ケーブルのコンネクタを引き抜く。



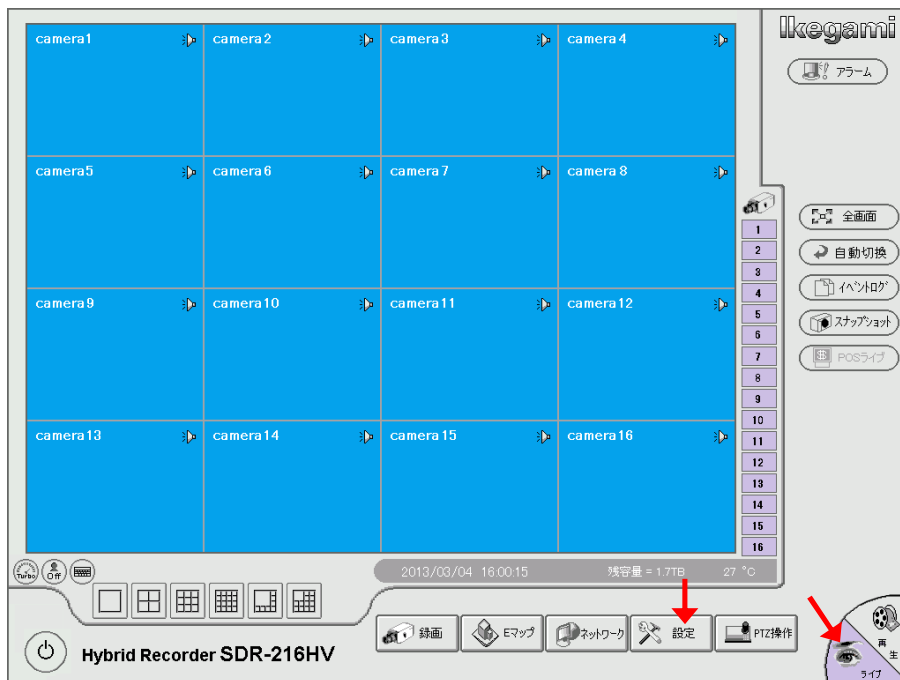
- (6) メイン電源を入れる。  
本体背面右下の 19V DC 端子に電源ケーブルのコンネクタを挿し込む。  
電源が入り、起動処理が始まる。約 1 分後に起動を完了する。  
モニターに画面が表示される。

- (7) 本体前面の電源ボタンを押す。  
既に、本体背面右下の 19V DC 端子に電源ケーブルのコンネクタが入っているが、本体前面の青 LED が消灯している場合は、本体前面の電源ボタンを押す。  
電源が入り、起動処理が始まる。約 1 分後に起動を完了する。  
モニターに画面が表示される。

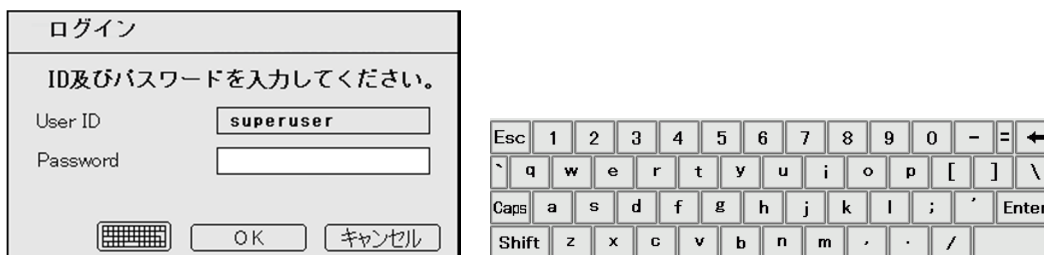


### 1-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

- (1) ライブ映像表示画面で設定ボタンをクリック。(ライブ・再生の切換ボタンは右下)



- (2) ログイン画面が表示される。  
キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。  
仮想キーボードでパスワードを入力する。  
工場設定のパスワードは 111111(半角 1 を 6 回)。  
[OK]をクリックする。

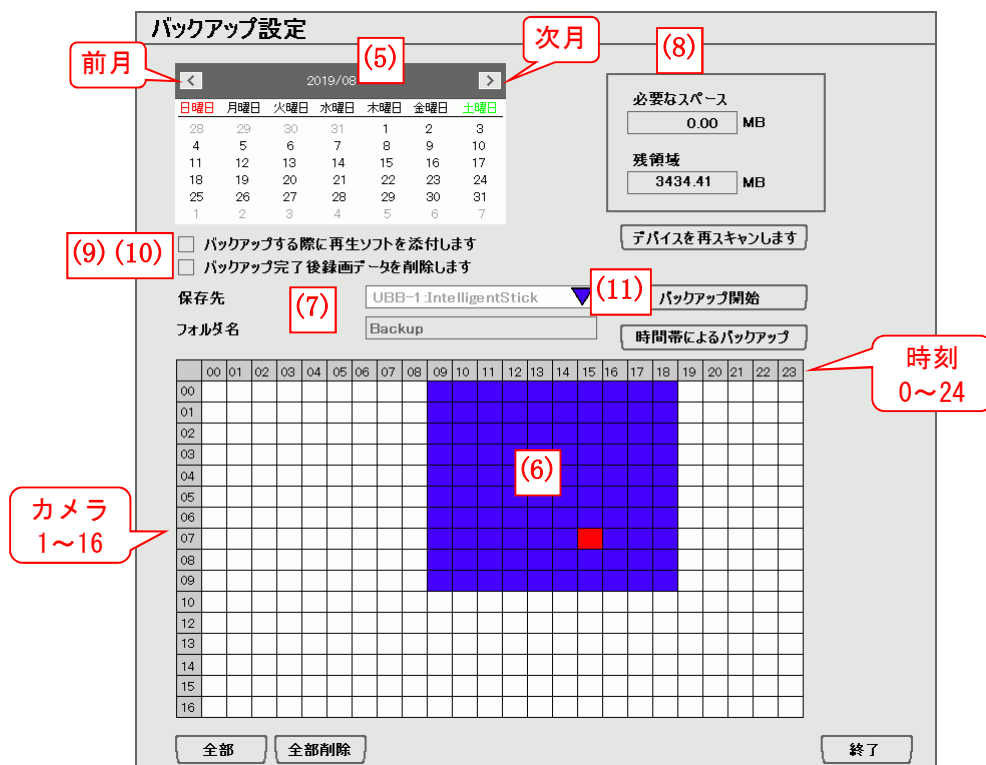


仮想キーボード表示を消す場合は Esc をクリック。

- (3) 設定画面が表示される。バックアップボタンをクリック。



(4) バックアップ設定画面が表示される。



- (5) カレンダーでバックアップする録画映像の日付を選択する。  
選択した日付に録画されているカメラ、時刻が青ブロックで表示される。
- (6) 青ブロック内でバックアップする録画映像のカメラ、時刻をクリックする。  
選択箇所が赤表示になる。
- (7) 保存先を USD メモリー、DVD-ROM から選択する。  
USB メモリーは FAT32 形式を使用する。  
フォルダ Backup は自動的に作成される。
- (8) 選択された録画映像の容量から、必要なスペース、残領域が表示される。
- (9) [バックアップする時に再生ソフトを添付します]にチェックを入れると、バックアップデータに再生用ソフト Qplayer が添付される。
- (10) [バックアップの完了後、録画データの削除をする]にチェックを入れると、バックアップ後本体のバックアップされた録画データが削除される。
- (11) 以上の設定が完了したら、バックアップ開始ボタンをクリックする。  
バックアップ経過表示の画面が表示される。  
経過 100%になったらバックアップは終了。  
バックアップファイルは以下の場所、名称で保存される。  
Backup ¥日付¥フォルダ¥チャンネル番号¥フォルダ¥日付-時刻. dvr  
例) Backup¥2016\_10\_14¥Channel102¥20161014-11. dvr  
Qplayer.exe が保存されている場合、バックアップファイルをダブルクリックすると再生できる。

- (12) バックアップする録画映像の時刻を指定する場合は、[時間帯によるバックアップ]ボタンをクリックする。
- (13) 時間帯バックアップ設定の画面が表示される。

**時間帯バックアップ設定**

**日時の設定**

開始日時 (14) 2020/01/01 12:00 設定

終了日時 2020/01/01 12:15 設定

**カメラ選択**

全部 (15)

1  2  3  4  5  6  7  8

9  10  11  12  13  14  15  16

**保存先**

サイズの計算 (16)

必要なスペース 0.00 MB

デバイスを再スキャンします (17)

残領域 3432.15 MB

保存先 (18) USB-1: IntelligentStick ▼

フォルダ名 Backup

**オプション**

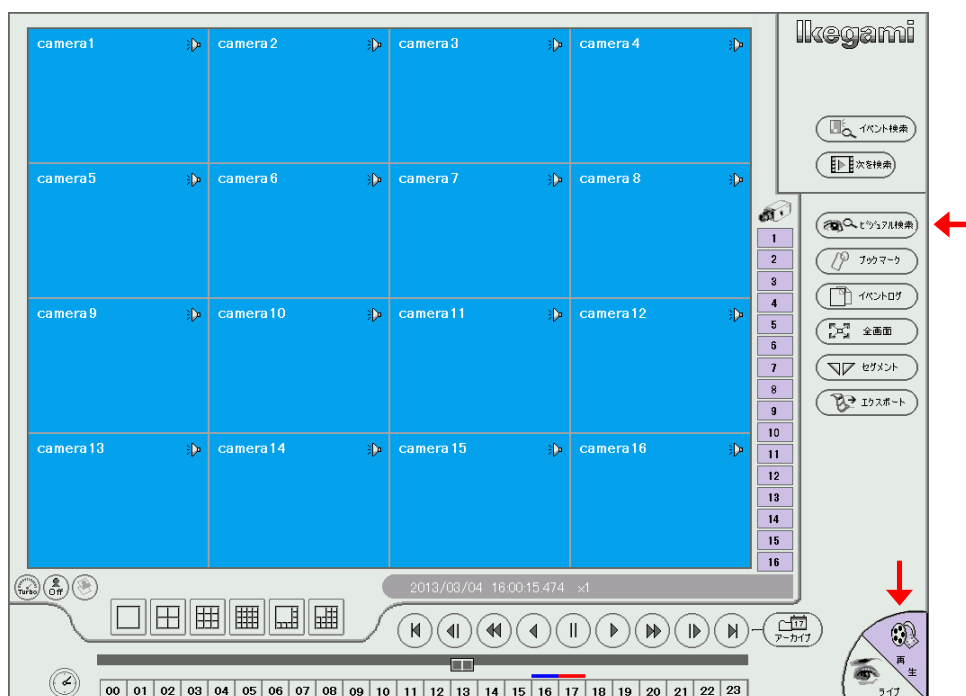
バックアップする際に再生ソフトを添付します

(19) (20) バックアップ開始 終了

- (14) 日時の設定セクションで、開始日時と終了日時を設定します。
- (15) カメラ選択セクションで、個別のチャンネルか全部のチャンネルを選択します。
- (16) バックアップの合計ファイルサイズを知りたい場合は、サイズの計算ボタンをクリックすると必要なスペースと残領域が表示されます。
- (17) デバイスを再スキャンしますボタンをクリックすると、合計バックアップファイルと記憶装置の記憶領域の容量が再計算されます。
- (18) 保存先を選択します。
- (19) バックアップフォルダに再生ソフトを保存したい場合は、[バックアップする際に再生ソフトを添付しますの]チェックボックスを選択します。Qplayer プログラムがバックアップフォルダに保存されます。
- (20) バックアップ開始ボタンをクリックします。  
 バックアップ経過表示の画面が表示される。  
 経過 100%になったらバックアップは終了。  
 バックアップファイルは以下の場所、名称で保存される。  
 Backup フォルダ¥日付フォルダ¥チャンネル番号フォルダ¥日付-時刻. dvr  
 例) Backup¥2016\_10\_14¥Channel02¥20161014-11. dvr  
 Qplayer.exe が保存されている場合、バックアップファイルをダブルクリックすると再生できる。

#### 1-4 録画映像を再生する

- (1) 再生をクリックする。
- (2) ビジュアル検索ボタンをクリックする。

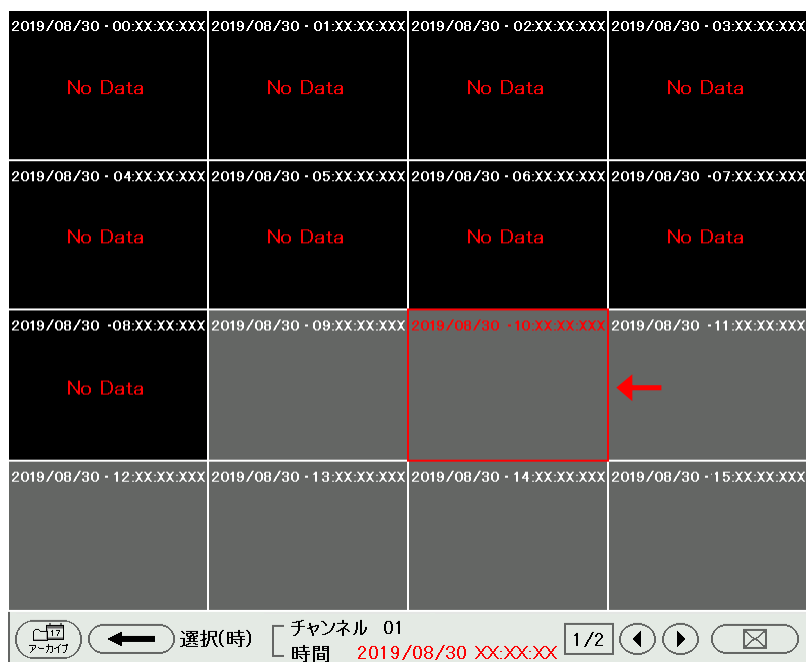


- (3) ビジュアル検索設定画面が表示される。  
カレンダーで赤文字は録画映像がある日。
- (4) 赤文字の日より、目的の日をクリックして選択する。  
選択された日の色が反転する。
- (5) 目的のカメラのCH番号を選択する。
- (6) OK をクリックする。





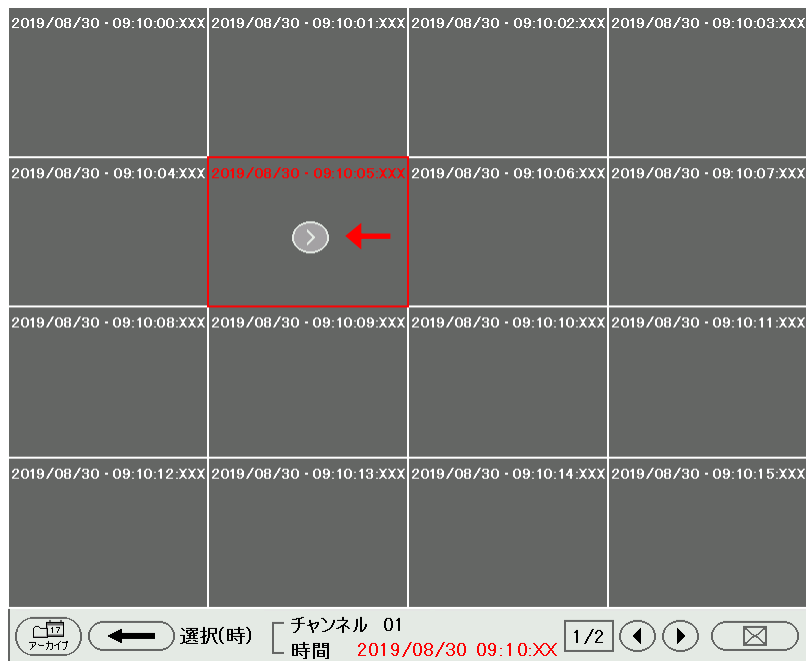
- (7) 選択された日に録画がされた画像のリストが、時間単位で表示される。  
No Data は録画されていない時間。
- (8) リストで目的の時間の画像をクリックして選択する。  
選択された画像は赤枠で表示される。
- (9) 赤枠の画像をもう一度クリックし、選択を確定する。



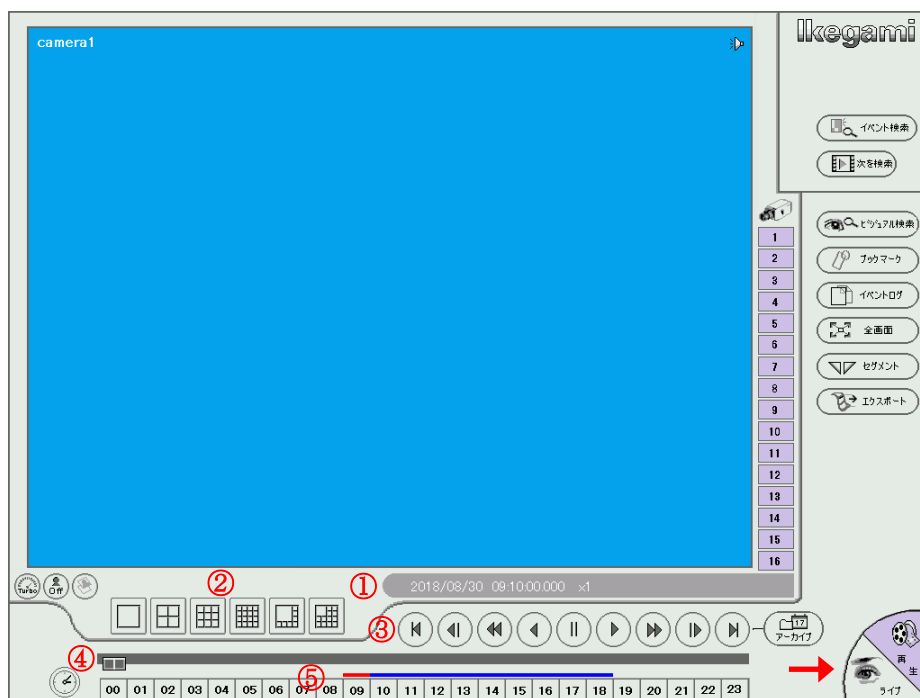
- (10) 選択された時間に録画がされた画像のリストが、分単位で表示される。  
No Data は録画されていない時間。
- (11) リストで目的の分の画像をクリックして選択する。  
選択された画像は赤枠で表示される。
- (12) 赤枠の画像をもう一度クリックし、選択を確定する。



- (13) 選択された分に録画がされた画像のリストが、秒単位で表示される。
- (14) リストで目的の秒の画像をクリックして選択する。  
選択された画像は赤枠の中に再生ボタンが表示される。
- (15) 赤枠の再生ボタンをクリックし、再生を開始する。



- (16) 再生画面が表示される。

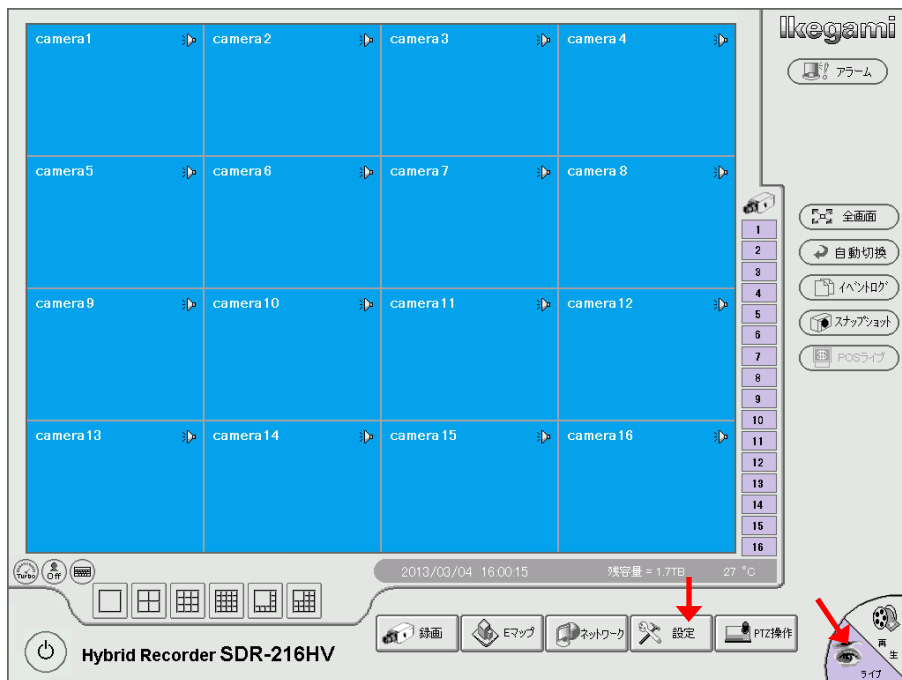


- ① 再生中の日時分秒、再生速度表示
- ② 分割画面選択
- ③ 再生操作ボタン  
先頭に移動、前のコマに戻る、スロー再生(x1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/32)、逆再生、一時停止、順再生、早送り再生(x2, 4, 8, 16, 32)、次のコマに進む、最後に移動
- ④ プログレスバー、バー全体で再生中の1時間を表示
- ⑤ 時刻ボタン、再生中の日付けの0時から23時を示し、  
赤バーは再生中の時刻、青バーは録画データのある時刻を示す。

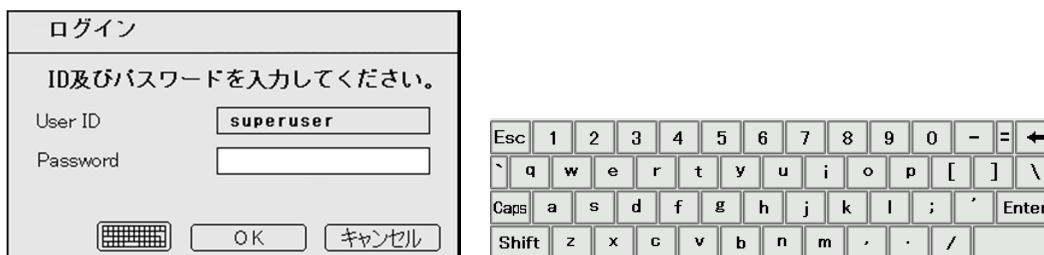
- (17) 再生終了はライブをクリックする

1-5 ハードディスクの状態を確認する

- (1) ライブ映像表示画面で設定ボタンをクリック。(ライブ・再生の切換ボタンは右下)



- (2) ログイン画面が表示される。  
キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。  
仮想キーボードでパスワードを入力する。  
工場設定のパスワードは 111111(半角 1 を 6 回)。  
[OK]をクリックする。



仮想キーボード表示を消す場合は Esc をクリック。

- (3) 設定画面が表示される。システムをクリックする。



- (4) システム設定画面が表示される。  
 正常であれば、残領域、容量に数値が表示され、状態に Normal と表示される。  
 異常の場合、残領域、容量に 0.0GB、状態に Error と表示される。

### システム設定

**保存先**

ディスク名	残領域	容量	状態
SATA-1-WD10EURX-63FH1Y0	0.0 GB	0.0 GB	Error

次の設定日数以前の録画データ削除:  日  
 次の設定日数以前のイベントとアラームログ削除:  日  
 上書きを有効にします

**言語**

言語 日本語 ▼

**ビデオ形式**

NTSC
  PAL

**コンフィグレーション**

**タッチモニター**

**スポットモニター**

シーケンシャル
  全部

1
  2
  3
  4
  5
  6
  7
  8

9
  10
  11
  12
  13
  14
  15
  16

スポット 出力はアナログカメラのみ対応

**その他**

再生モード 前回のファイル再生 ▼

キーフレーム再生は4分割画面のみです  
 IPカメラのインテリジェントストリーミング機能を有効にします

日付のフォーマット yyyy/mm/dd ▼

シーケンシャル時間  秒

システム起動時にCPUメーターを有効にする

**IPカメラ解像度モード**

固定モード (8 CH @ 1.3MP H.364)  
 可変モード (残 8 MP配置可能)

**ログイン**

起動時に自動的にログインする  
 起動時に自動的に録画する  
 起動時に自動的にネットワークを開始する

デフォルトユーザー superuser ▼

**日時設定**

システム日時 2020/03/04 11:20:16

サマータイム

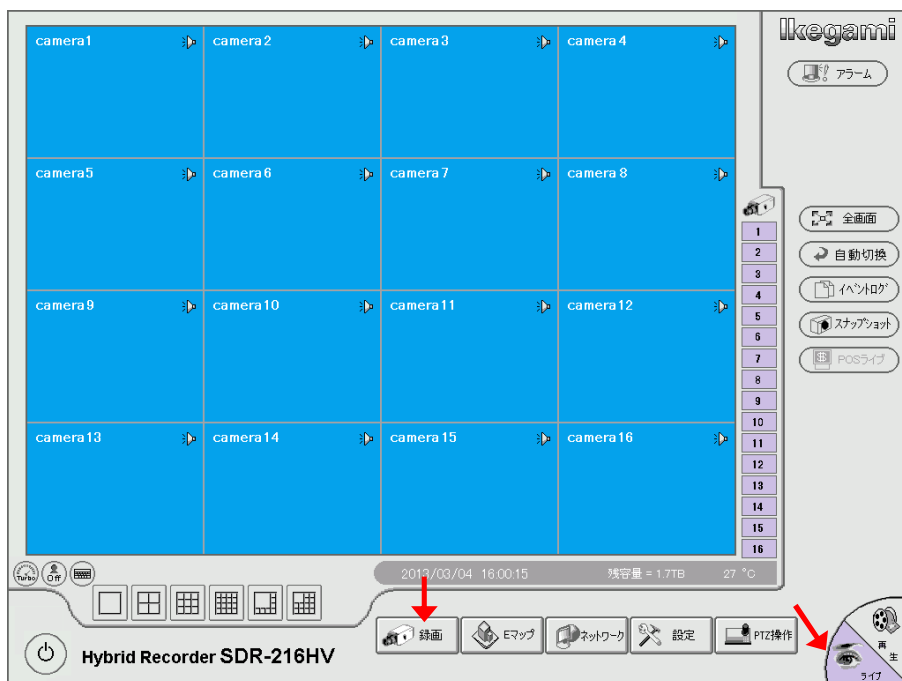
**ファームウェア**

製品バージョン X9.02.24.19.06f

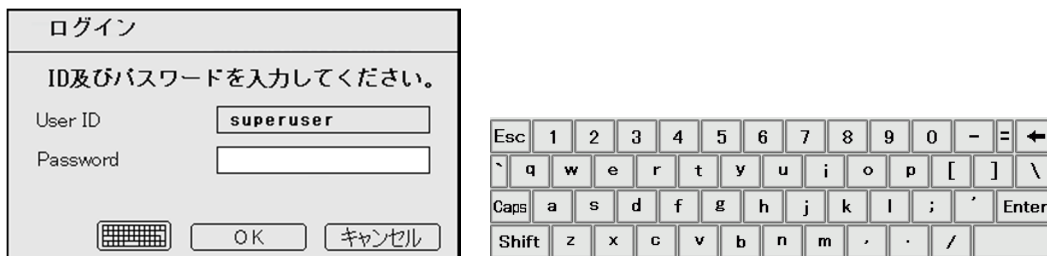
IPカメラモジュール 5.1.1.22

## 1-6 ハードディスクをフォーマットする

- (1) 録画中の場合は録画を停止する。ライブ映像表示画面で録画ボタンをクリック。(ライブ・再生の切替ボタンは右下)



- (2) ログイン画面が表示される。  
キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。  
仮想キーボードでパスワードを入力する。  
工場設定のパスワードは111111(半角1を6回)。  
[OK]をクリックする。

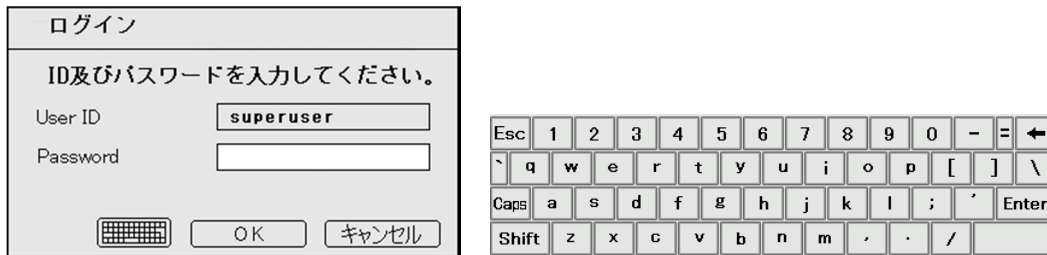


仮想キーボード表示を消す場合は Esc をクリック。

- (3) 録画が停止する。  
設定ボタンをクリックする。



- (4) ログイン画面が表示される。  
 キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。  
 仮想キーボードでパスワードを入力する。  
 工場設定のパスワードは 111111(半角 1 を 6 回)。  
 [OK]をクリックする。

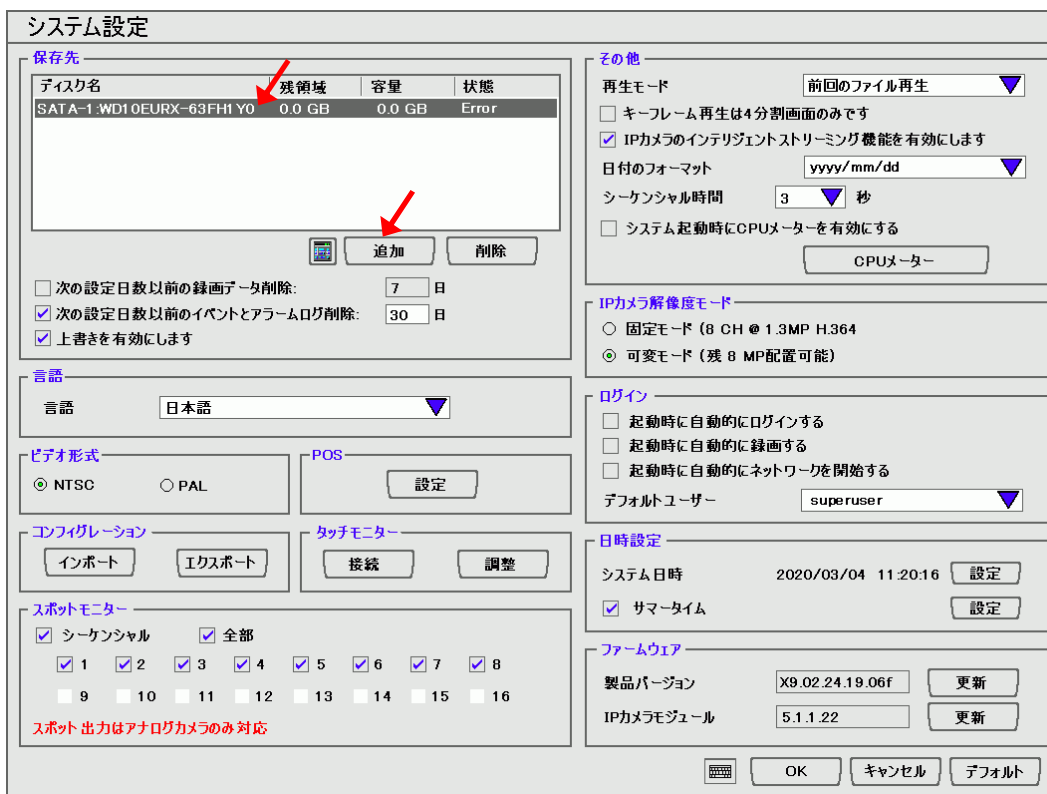


仮想キーボード表示を消す場合は Esc をクリック。

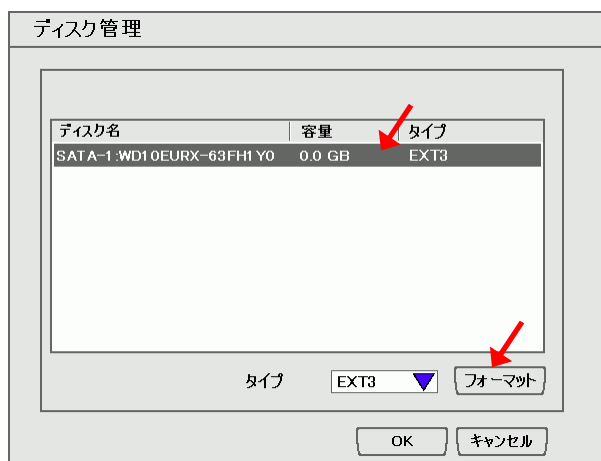
- (5) 設定画面が表示される。システムをクリックする。



- (6) システム設定画面が表示される。  
 フォーマットするディスクの行をクリックし、文字を反転させる。  
 追加ボタンをクリックする。



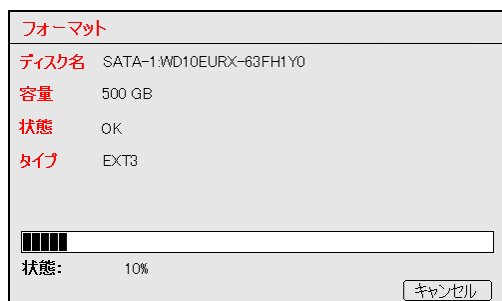
- (7) ディスク管理画面が表示される。  
フォーマットするディスクの行をクリックし、文字を反転させる。  
フォーマットボタンをクリックする。



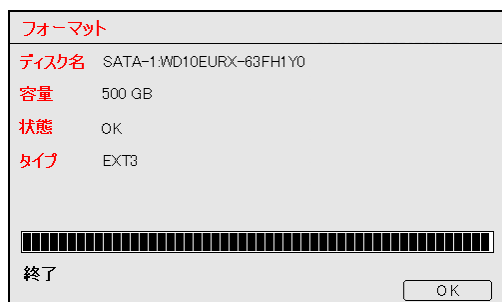
フォーマット画面が表示される。  
開始ボタンをクリックする。



- (8) フォーマットが始まる。



- (9) フォーマットが終了する。  
OK ボタンをクリックし、フォーマット画面を閉じる。



- (10) ディスク管理画面の OK ボタンをクリックし、ディスク管理画面を閉じる。

(11) システム設定画面でディスクの状態を確認する。

残容量、容量、状態を確認する。

確認したら、OK ボタンをクリックし、システム設定画面を閉じる。

システム設定

保存先

ディスク名	残領域	容量	状態
SATA-1.WD10EURX-63FH1Y0	480.0 GB	480.0 GB	Normal

追加 削除

次の設定日数以前の録画データ削除: 7 日

次の設定日数以前のイベントとアラームログ削除: 30 日

上書きを有効にします

言語

言語: 日本語

ビデオ形式

NTSC  PAL

POS

設定

コンフィグレーション

インポート エクスポート

タッチモニター

接続 調整

スポットモニター

シーケンシャル  全部

1  2  3  4  5  6  7  8

9  10  11  12  13  14  15  16

スポット 出力はアナログカメラのみ対応

その他

再生モード: 前回のファイル再生

キーフレーム再生は4分割画面のみです

IPカメラのインテリジェントストリーミング機能を有効にします

日付のフォーマット: yyyy/mm/dd

シーケンシャル時間: 3 秒

システム起動時にCPUメーターを有効にする

CPUメーター

IPカメラ解像度モード

固定モード (8 CH @ 1.3MP H.364)

可変モード (残 8 MP 配置可能)

ログイン

起動時に自動的にログインする

起動時に自動的に録画する

起動時に自動的にネットワークを開始する

デフォルトユーザー: superuser

日時設定

システム日時: 2020/03/04 11:20:16 設定

サマータイム 設定

ファームウェア

製品バージョン: X9.02.24.19.06f 更新

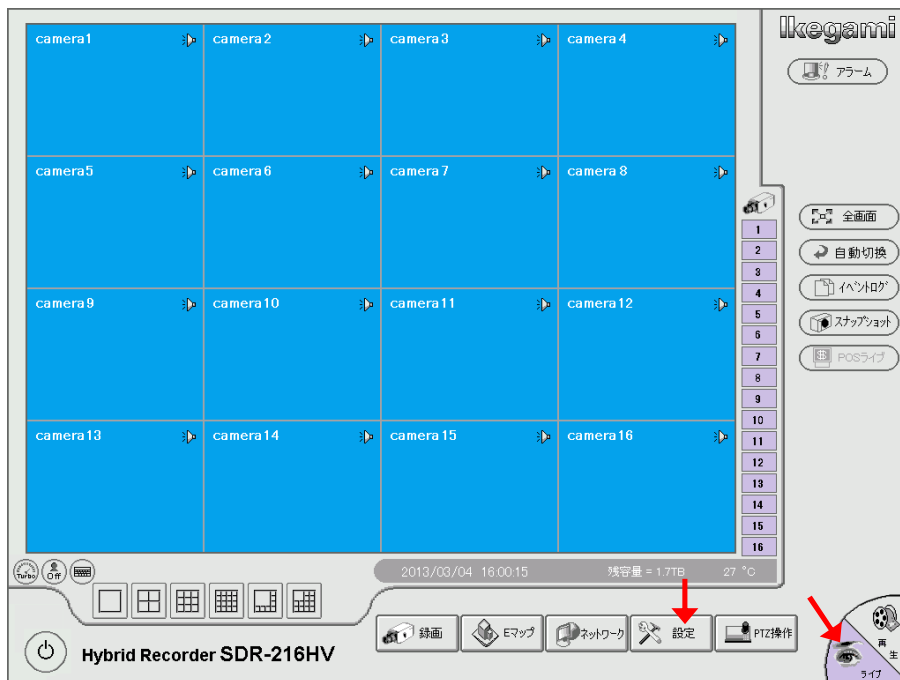
IPカメラモジュール: 5.1.1.22 更新

OK キャンセル デフォルト

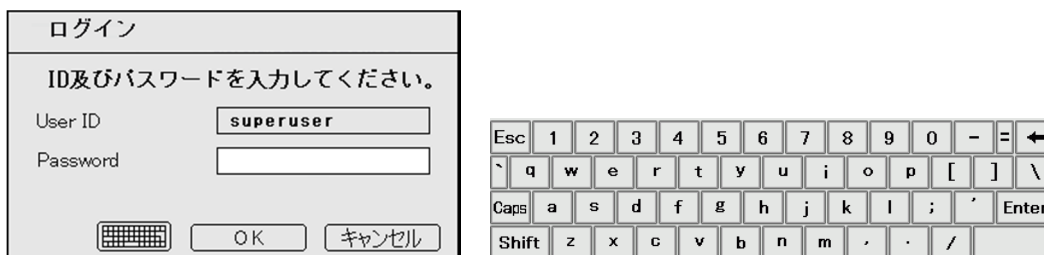


## 1-7 時刻を修正する

- (1) ライブ映像表示画面で設定ボタンをクリック。(ライブ・再生の切換ボタンは右下)



- (2) ログイン画面が表示される。  
キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。  
仮想キーボードでパスワードを入力する。  
工場設定のパスワードは 111111(半角 1 を 6 回)。  
[OK]をクリックする。



仮想キーボード表示を消す場合は Esc をクリック。

- (3) 設定画面が表示される。システムボタンをクリック。



- (4) システム設定画面が表示される  
日時設定、システム日時設定ボタンをクリックする。

システム設定

**保存先**

ディスク名	残領域	容量	状態
SATA-1:WD10EURX-63FH1 Y0	480.0 GB	480.0 GB	Normal

次の設定日数以前の録画データ削除: 7 日  
 次の設定日数以前のイベントとアラームログ削除: 30 日  
 上書きを有効にします

**言語**

言語: 日本語

**ビデオ形式**  NTSC  PAL

**POS**

**コンフィグレーション**

**タッチモニター**

**スポットモニター**

シーケンシャル  全部

1  2  3  4  5  6  7  8  
 9  10  11  12  13  14  15  16

スポット出力はアナログカメラのみ対応

**その他**

再生モード: 前回のファイル再生

キーフレーム再生は4分割画面のみです  
 IPカメラのインテリジェントストリーミング機能を有効にします

日付のフォーマット: yyyy/mm/dd

シーケンシャル時間: 3 秒

システム起動時にCPUメーターを有効にする

**IPカメラ解像度モード**

固定モード (8 CH @ 1.3MP H.364)  
 可変モード (残 8 MP配置可能)

**ログイン**

起動時に自動的にログインする  
 起動時に自動的に録画する  
 起動時に自動的にネットワークを開始する

デフォルトユーザー: superuser

**日時設定**

システム日時: 2020/03/04 11:20:16  (red arrow)

サマータイム

**ファームウェア**

製品バージョン: X9.02.24.19.06f   
IPカメラモジュール: 5.1.1.22

- (5) 日時設定画面が表示される。  
修正する時刻をクリックし、文字を反転させる。  
▲▼で時刻を修正する。  
OKをクリックし画面を閉じる。

2019/08

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

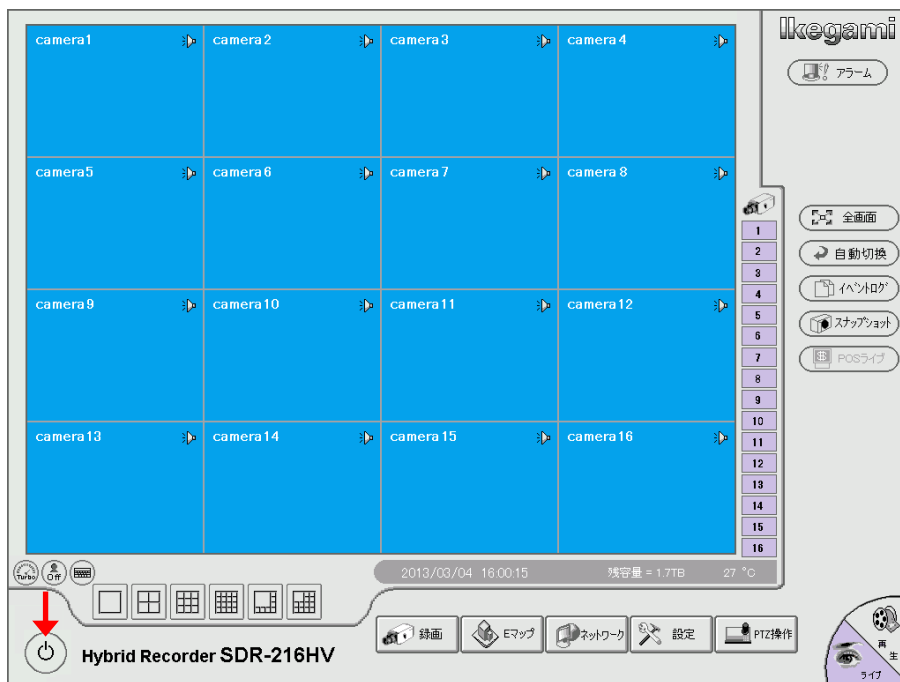
A.M. 10:35:25 ▲▼ (red arrows)

(red arrow)

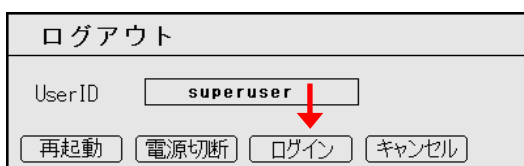
- (6) システム設定画面を閉じる。  
OKをクリックし画面を閉じる。
- (7) 設定画面を閉じる。  
OKをクリックし画面を閉じる。

1-8 別のユーザーでログインする

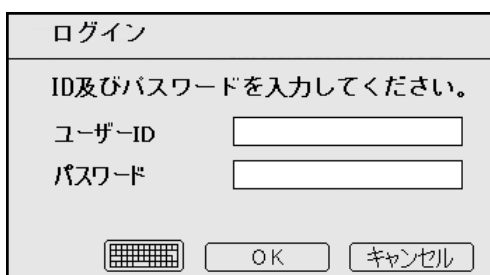
(1) 映像表示画面で、左下の電源ボタンをクリックする。



(2) ログアウト画面が表示される。  
ログインボタンをクリックする。



ログイン画面が表示される。  
キーボードボタンをクリックし、仮想キーボードを表示する。  
既に登録されている、ユーザーID、パスワードを入力する。  
OK ボタンをクリックする。  
以上で、入力したユーザーID でログインされる。



## 2. SDR-209、SDR-209F

### 2-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

ユーザー名	パスワード
なし	なし

### 2-2 電源切/入の方法

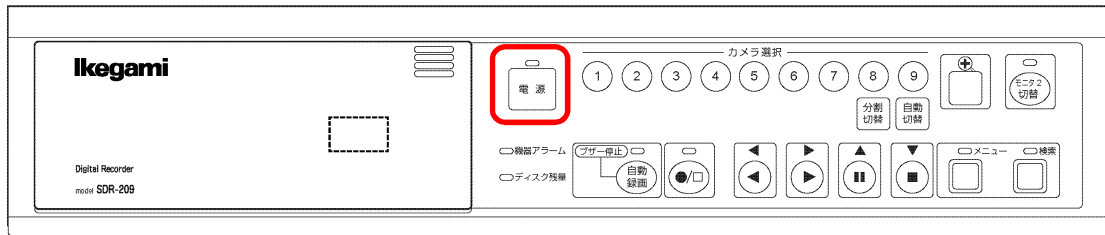
#### (1) 電源を切る。

電源ボタンを押し続け、上のLEDが消灯したら放す。

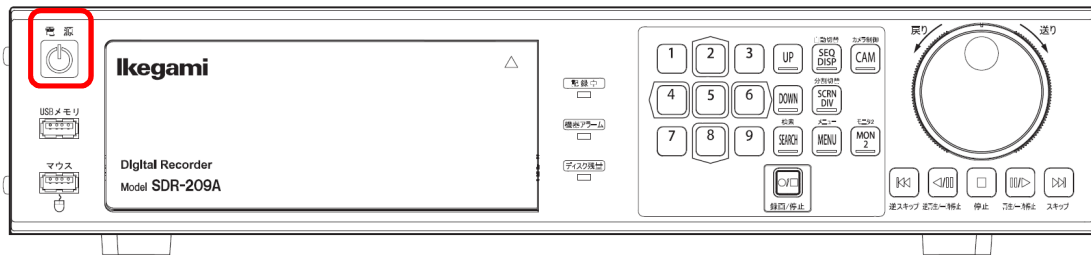
(SDR-209の場合は4秒程度、SDR-209Aの場合は1秒程度押し続ける。

全ての機能が停止しスタンバイ状態となる。電源ボタン上のLEDは10秒間隔で点滅する。

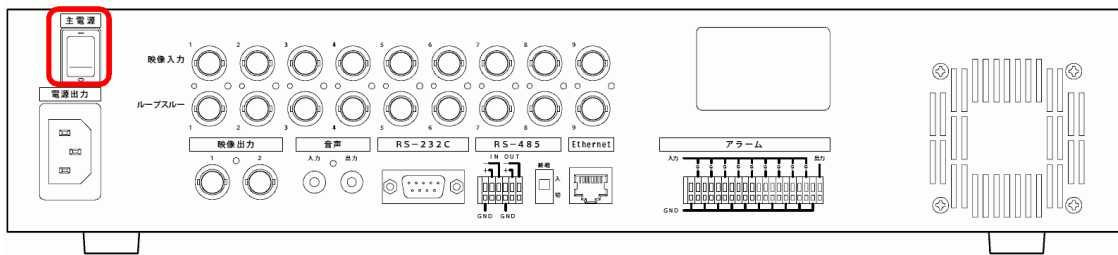
完全に電源を切る場合は、スタンバイ状態で本体背面の主電源スイッチを切る。



SDR-209 前面



SDR-209A 前面



SDR-209、SDR-209A 背面

#### (2) 電源を入れる。

本体背面の主電源スイッチを入れる。

スタンバイ状態となり、本体前面の電源ボタン上のLEDが10秒間隔で点滅する。

本体前面の電源ボタンを押す。

電源ボタン上のLEDが点灯し、モニターに画面が表示される。

システムチェックが始まり、LEDが点滅する。チェックが終了したらLEDが点灯する。

## 2-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

バックアップされるデータは、高さ1/2の、1コマ1コマのjpgファイルとなる。

バックアップに要する時間は、映像記録時間の2倍以上掛かる。

以上の理由より、バックアップは推奨できない。

SDR-209の映像出力にビデオ録画装置を接続し、SDR-209の再生映像をビデオ録画装置で録画する方が、現実的である。

どうしてもバックアップしたいということであれば、以下を参照。

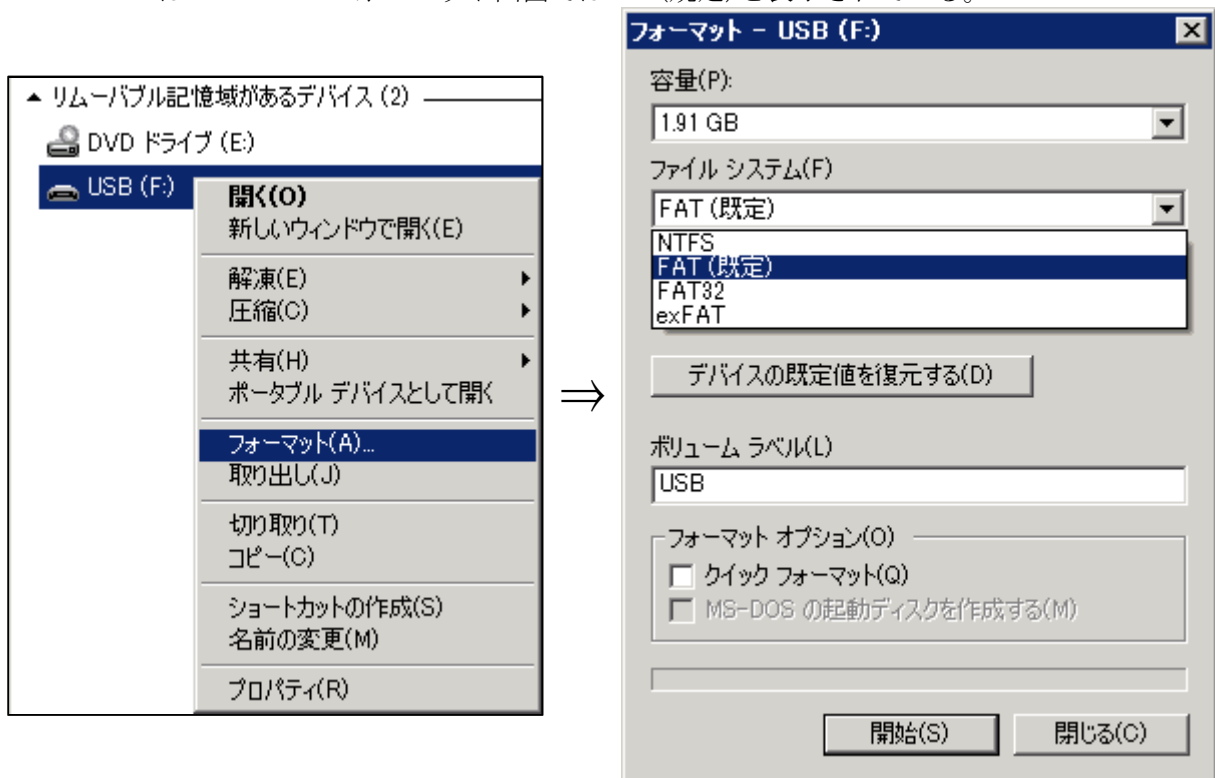
## 2-4 SDR-209

### (1) USBメモリーをフォーマットする。

SDR本体にはフォーマットする機能がないので、PCでフォーマットする。

ファイルシステムはFAT16でフォーマットする。

FAT16はWindowsのフォーマット画面ではFAT(規定)と表示されている。

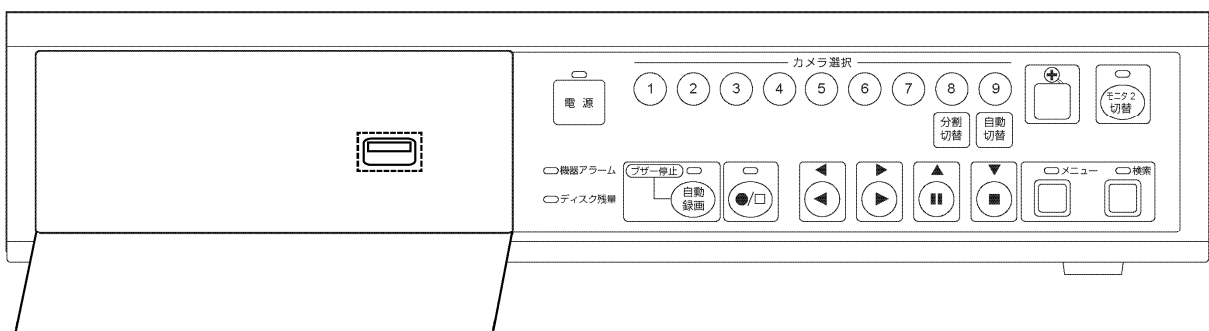


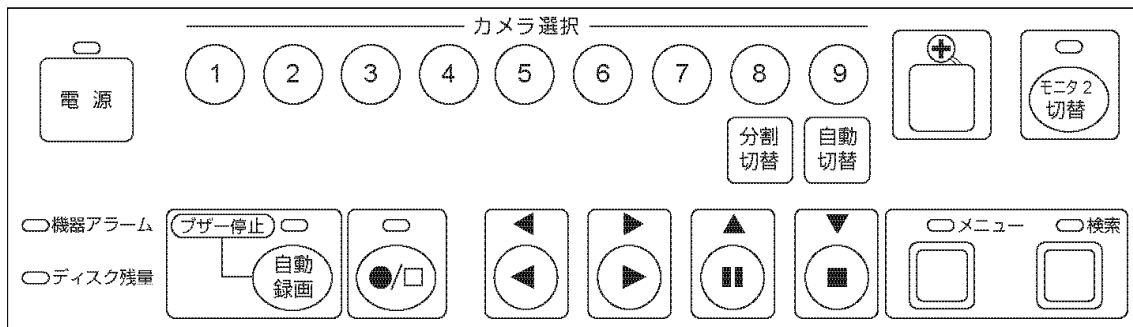
※ FATはFile Allocation Tableでデータの管理方法

- ・FAT16：16ビット、最大2GB、Win95等
- ・FAT32：32ビット、最大32GB、WinXP等
- ・NTFS：32ビット、最大2TB、WinNT等
- ・exFAT：64ビット、最大256TB、WinXP等

### (2) USBメモリーを接続する。

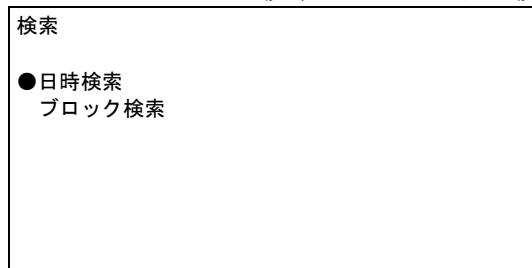
SDR本体左側のフタを開く。USB端子にUSBメモリーを差し込む。





(3) 検索ボタンを押す

▼ ▲ ボタンで日時検索またはブロック検索を選び、▶ ボタンで決定する。



● 日時検索の場合

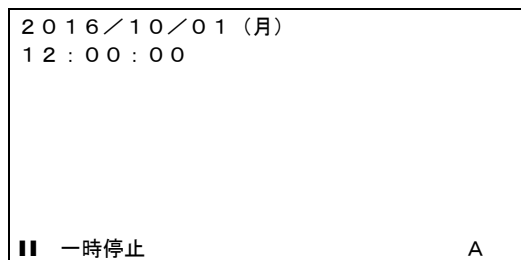
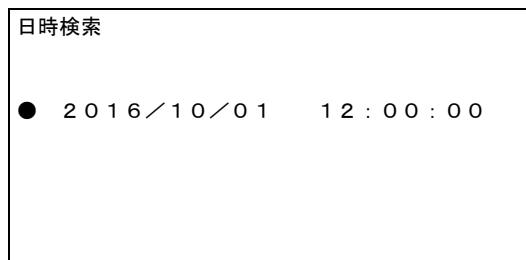
(4) アーカイブ（コピー）開始時刻の映像を検索する。

◀ ▶ ボタンで年月日時分秒を選択し ▼ ▲ ボタンで数値を変える。

日時を設定したら、検索ボタンを押す。

指定された日時の映像が一時停止状態で表示される。

その日時の録画映像がない場合は、その日時より新しい最も近い映像が表示される。



(5) アーカイブ開始位置を設定する。

メニューボタンを押す。

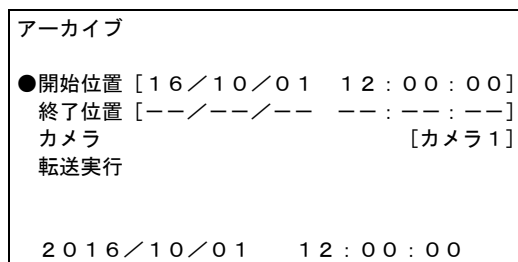
アーカイブ画面が表示される。

▼ ▲ ボタンで ● を移動し開始位置を選択する。▶ ボタンを押す。

開始位置の時刻が、検索した時刻に設定される。

● を移動しカメラを選択し、▶ ボタンを押す。

▼ ▲ ボタンでカメラ番号を選択する。





- ブロック検索の場合

(8) ブロック検索の条件を設定する。

▼ ▲ ボタンで設定項目を選び、▶ ボタンで決定する。

項目決定後、▼ ▲ ボタンで設定内容を選択する。

ブロック検索

●カメラ [カメラ1]  
録画モード [ 通常]  
検索実行

設定内容は以下。

項目	設定	内容
カメラ	カメラ1～9	選択したカメラを検索条件に指定する
	すべて	すべてのカメラを検索条件に指定する
録画モード	通常	通常録画を検索条件に指定する
	タイマー	タイマー録画を検索条件に指定する
	アラーム	アラーム録画を検索条件に指定する
	すべて	すべての録画を検索条件に指定する

(9) ブロック検索を実行する。

設定完了したら、検索実行に●を移動し、▶ ボタンを押すとブロック検索を開始する。  
検索条件に合致したブロックが表示される。

ブロック検索

● [N 16/10/01 12:00:00A] ▲  
[T 16/10/02 17:00:00B]  
[----/--/-- --:--:--]  
[----/--/-- --:--:--]  
[----/--/-- --:--:--]  
[----/--/-- --:--:--]  
[----/--/-- --:--:--] ▼

[記号 年/月/日 時:分:秒 記号] で表示され、記号の説明は以下。

最初の記号	内容	最後の記号	内容
N	通常録画	A	HDD-Aのデータ
T	タイマー録画	B	HDD-Bのデータ
A	アラーム録画		

▼ ▲ ボタンでブロックを選び、検索ボタンを押す。

指定されたブロックの最初の映像が一時停止状態で表示される。

2016/10/01 (月)  
12:00:00

|| 一時停止 A



(10) アーカイブ開始位置を設定する。

メニューボタンを押す。

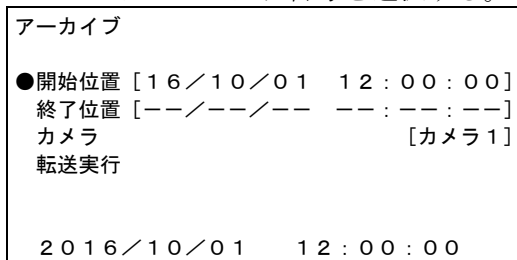
アーカイブ画面が表示される。

▼ ▲ ボタンで ● を移動し開始位置を選択する。▶ ボタンを押す。

開始位置の時刻が、検索した時刻に設定される。

● を移動しカメラを選択し、▶ ボタンを押す。

▼ ▲ ボタンでカメラ番号を選択する。



(11) アーカイブ終了位置を設定する。

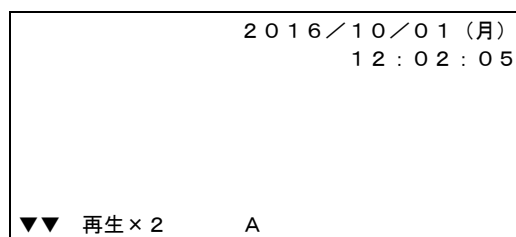
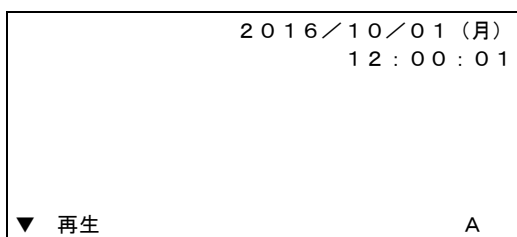
メニューボタンを押す、検索映像の表示に戻る。

▶ ボタンを押す。再生を開始する。

更に▶ ボタンを押すと、×2、×4、×8、1分飛ばし、10分飛ばしと再生速度が速くなる。

再生速度を調整しながら、アーカイブ終了位置の映像を探す。

アーカイブ終了位置の再生映像が表示されたら ■■ ボタンを押し一時停止する。

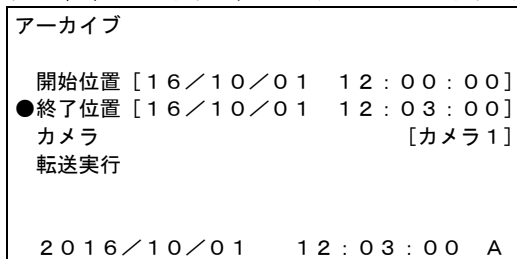


メニューボタンを押す。

アーカイブ画面が表示される。

▼ ▲ ボタンで ● を移動し終了位置を選択する。▶ ボタンを押す。

終了位置の時刻が、一時停止した時刻に設定される。





### 3. SDR-209A、SDR-209AF

#### 3-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

映像検索、コピー、キーロック設定を行うためにはパスワードが必要。

ユーザー名	パスワード
ADMIN	ADMIN

#### 3-2 電源切/入の方法

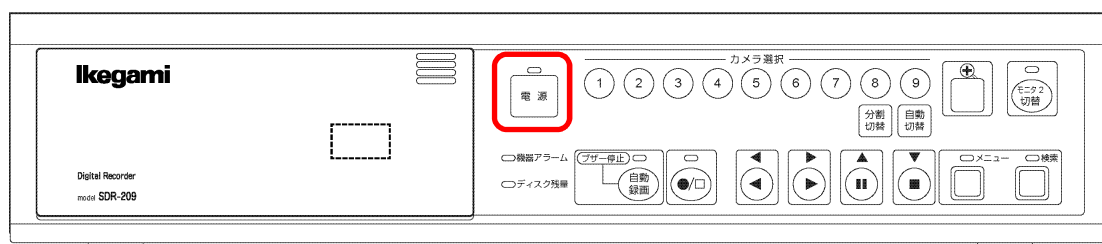
##### (1) 電源を切る。

電源ボタンを押し続け、上のLEDが消灯したら放す。

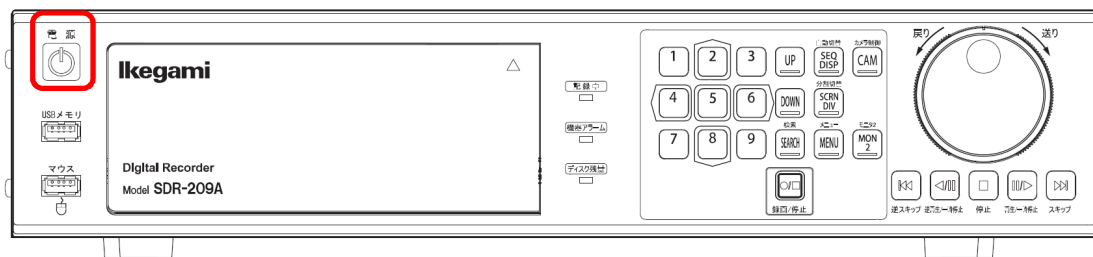
(SDR-209の場合は4秒程度、SDR-209Aの場合は1秒程度押し続ける。

全ての機能が停止しスタンバイ状態となる。電源ボタン上のLEDは10秒間隔で点滅する。

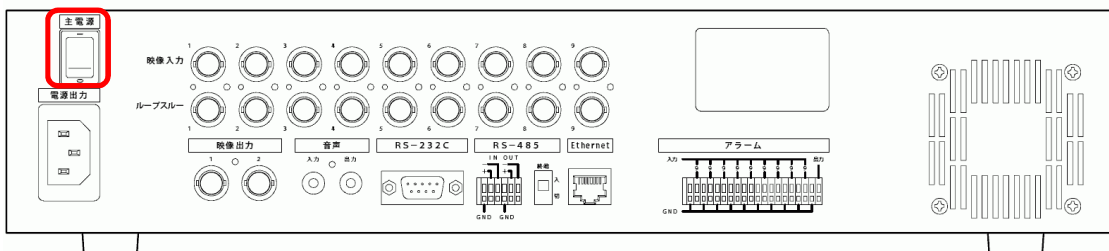
完全に電源を切る場合は、スタンバイ状態で本体背面の主電源スイッチを切る。



SDR-209 前面



SDR-209A 前面



SDR-209、SDR-209A 背面

##### (2) 電源を入れる。

本体背面の主電源スイッチを入れる。

スタンバイ状態となり、本体前面の電源ボタン上のLEDが10秒間隔で点滅する。

本体前面の電源ボタンを押す。

電源ボタン上のLEDが点灯し、モニターに画面が表示される。

システムチェックが始まり、LEDが点滅する。チェックが終了したらLEDが点灯する。

### 3-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

バックアップされるデータは、高さ1/2の、1コマ1コマのjpgファイルとなる。

バックアップに要する時間は、映像記録時間の2倍以上掛かる。

以上の理由より、バックアップは推奨できない。

SDR-209の映像出力にビデオ録画装置を接続し、SDR-209の再生映像をビデオ録画装置で録画する方が、現実的である。

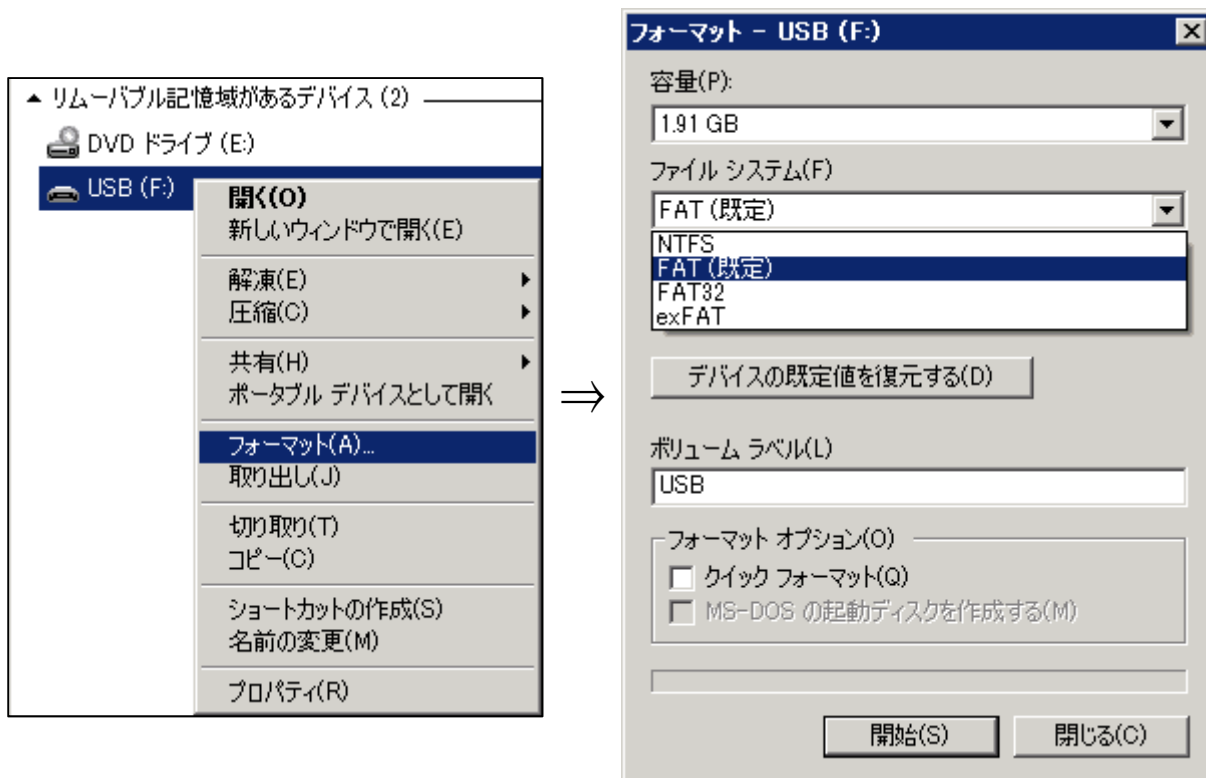
どうしてもバックアップしたいということであれば、以下を参照。

#### (1) USBメモリーをフォーマットする。

SDR本体にはフォーマットする機能がないので、PCでフォーマットする。

ファイルシステムはFAT16でフォーマットする。

FAT16はWindowsのフォーマット画面ではFAT(規定)と表示されている。

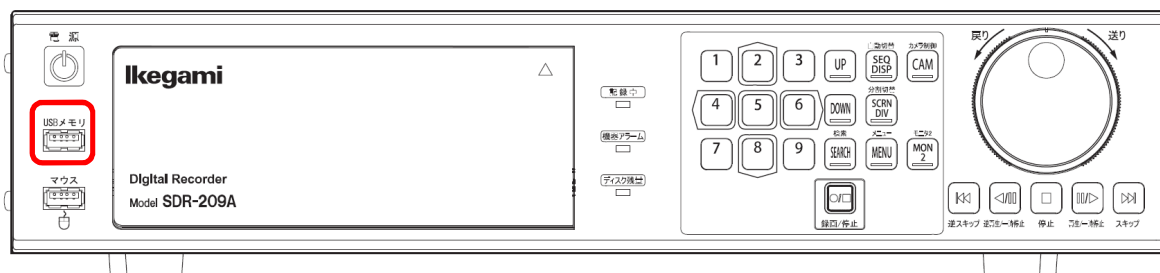


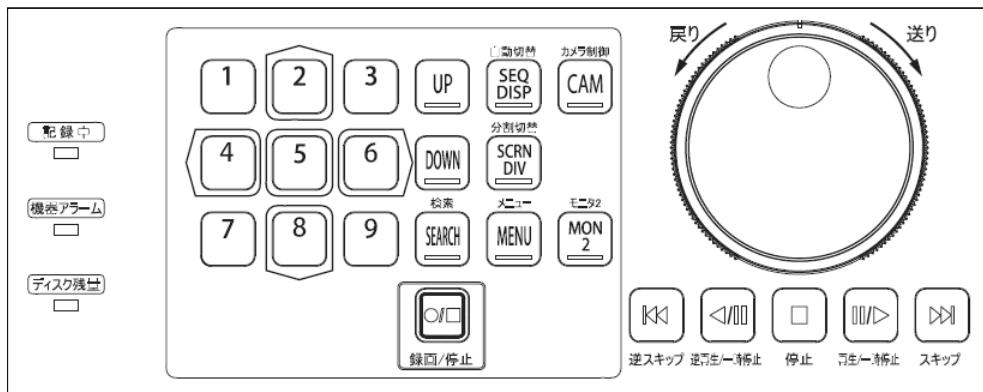
※ FATはFile Allocation Tableでデータの管理方法

- ・ FAT16 : 16 ビット、最大 2GB、Win95 等
- ・ FAT32 : 32 ビット、最大 32GB、WinXP 等
- ・ NTFS : 32 ビット、最大 2TB、WinNT 等
- ・ exFAT : 64 ビット、最大 256TB、WinXP 等

#### (2) USBメモリーを接続する。

本体左のUSBメモリー端子にUSBメモリーを差し込む。





(3) メニュー画面を表示する。

[MENU]ボタンを押す。メニュー画面が表示される。

[2]、[8]ボタンで[データコピー]にカーソルを移動し、[5]ボタンを押す。



(4) ログインする。

[2]、[8]ボタンで上下、[4]、[6]ボタンで左右移動、[5]ボタンで決定する。

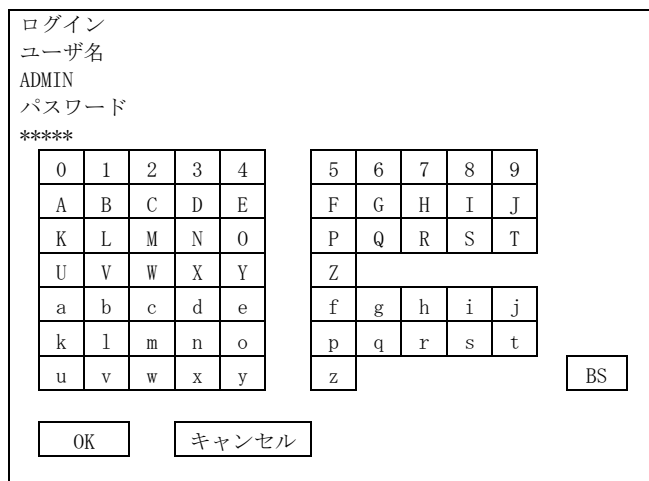
これを繰り返しユーザー名を入力する。初期設定のユーザー名は「ADMIN」。

入力完了したら[OK]に移動し[5]ボタンで決定する。

同様にパスワードを入力する。初期設定のパスワードは「ADMIN」。

入力完了したら[OK]に移動し[5]ボタンで決定する。

データコピー画面が表示される。



データコピー画面が表示される。

- (5) コピー開始日時、終了日時、カメラを指定する。  
 [2]、[8]ボタンで上下、[4]、[6]ボタンで左右移動、[UP]、[DOWN]ボタンで設定を変更する。  
 記録開始時間：コピー開始日時を指定する。  
 記録終了時間：コピー終了日時を指定する。  
 カメラ：データをコピーするカメラを指定する。複数指定可能。

データコピー			
記録開始時間	<日付> 2016年 1月 1日	<時間> 0時 0分 0秒	クリア
記録終了時間	<日付> 2016年 10月 1日	<時間> 12時 20分 13秒	クリア
カメラ	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 7 <input type="radio"/> 8 <input type="radio"/> 9 <input checked="" type="radio"/> 全て	コピー開始	USB
			戻る

- (6) コピーを実行する。  
 各設定が完了したら、[USB]にカーソルを移動し、[5]ボタンを押してコピーを開始する。  
 コピーが終了したらライブ画面に戻る。  
 コピーされた画像は以下のファイル名で1コマ1コマの静止画ファイルで保存される。  
 時分秒コマ.JPG  
 例：ファイル「12100014.JPG」は12時10分00秒14コマ目の画像。
- (7) コピーを途中で中止する。  
 コピー実行中に[MENU]ボタンを押す。コピー停止画面が表示される。  
 [2]、[8]ボタンで上下、[4]、[6]ボタンで左右、で[コピー停止]に移動する。  
 [5]ボタンを押してコピーを停止する。  
 コピーが停止したらライブ画面に戻る。

分割選択
トリプレックス
コピー停止
シーケンス
カメラ制御
ズーム
録画時間
XXXXX日XX時

## 4. SDR-409、SDR-409D、SDR-416D

### 4-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

工場設定ではパスワード照合が OFF になっているので、パスワード入力不要。  
パスワード照合 ON に設定した場合は、設定メニューに入るためにはパスワードが必要。

パスワード	説明
11111111	1を8回、管理者
22222222	2を8回、ユーザー 1
33333333	3を8回、ユーザー 2
44444444	4を8回、ユーザー 3
55555555	5を8回、ユーザー 4

- (1) コピーを開始する前にパスワードを求められるが、これはコピーデータを再生するときのパスワード設定。
- (2) 再生時にパスワード無しとする場合は、入力せずにそのままエンターを押す。

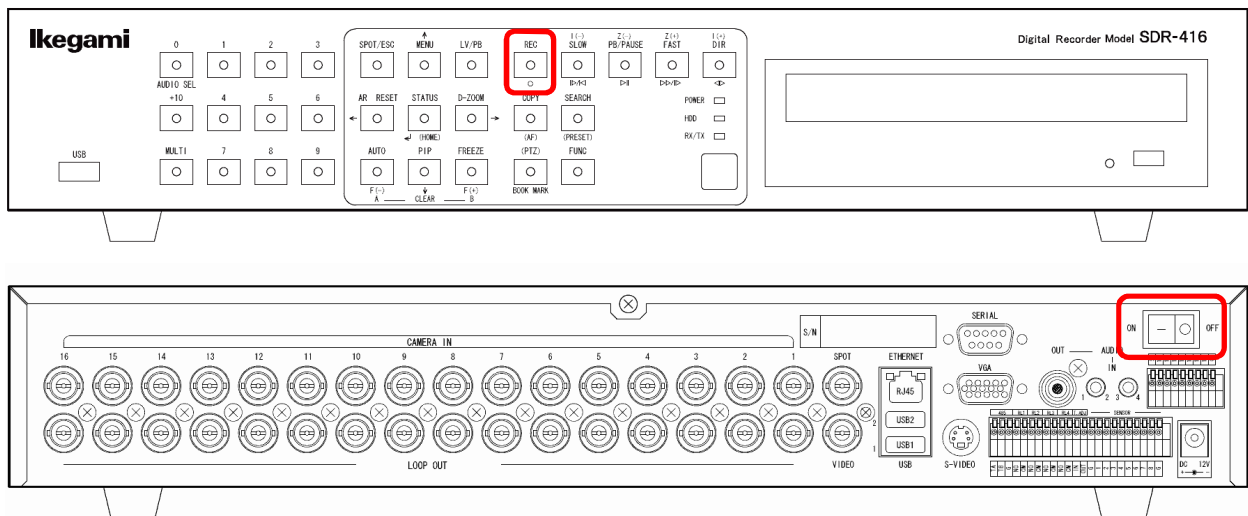
### 4-2 電源切／入の方法

- (1) 電源を切る。

本体前面の REC ボタン LED が赤で点灯している場合は録画中。

録画中の場合は REC ボタン押して録画を停止する。LED が消灯する。

本体背面の電源スイッチを切る。



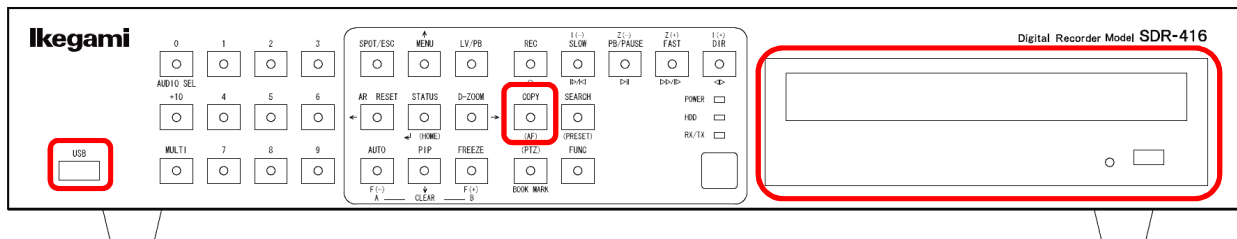
- (2) 電源を入れる。

本体背面の電源スイッチを入れる。

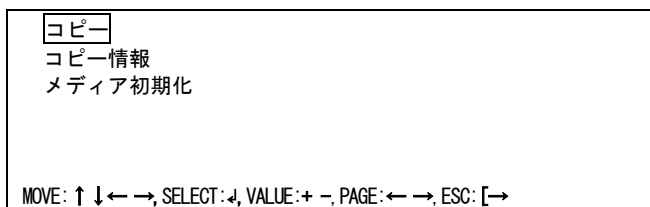
モニターに起動画像が表示される。約 1 分後に起動を完了する。

#### 4-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

(1) コピーボタンを押す。

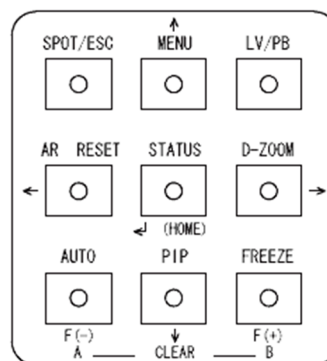


コピー画面が表示される。



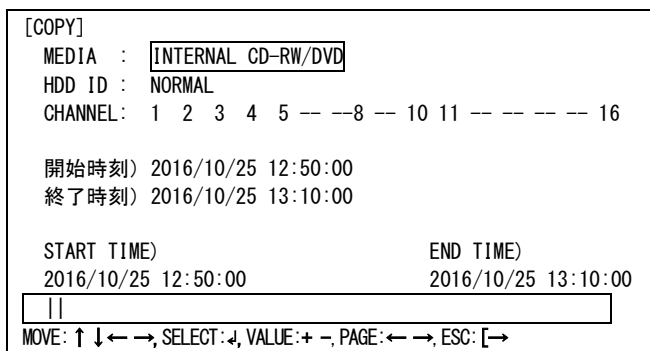
画面での操作は以下のボタンで行う。

- 上下移動: ↑ (MENU)、↓ (CLEAR)
- 左右移動: ← (AR RESET)、→ (D-ZOOM)
- ENTER: ↓ (STATUS)
- 設定値変更: + (AUTO)、- (FREEZE)
- ESC: ESC (SPOT/ESC)



(2) コピーを選択する。

コピーに移動し、選択する。  
[COPY]画面が表示される。



(3) USB メモリーにコピーする場合。

USB メモリーを本体前面左下に差し込む。  
上下ボタンで画面の MEDIA に移動する。  
+ ボタンで USB を選択する。

(4) CD-R/CD-RW/DVD+RW/DVD-RAM にコピーする場合。

本体右下のトレー開閉ボタンを押し、CD/DVD トレーを開く。  
ディスクをトレーに乗せ、開閉ボタンを押してトレーを閉じる。  
上下ボタンで画面の MEDIA に移動する。  
+ ボタンで INTERNAL CD-RW/DVD を選択する。



- (5) コピーするカメラのチャンネルを指定する。  
 上下ボタンで画面の CHANNEL に移動する。  
 左右ボタンでチャンネル番号に移動する。  
 コピーしないチャンネルは、＋ボタンで番号を－に変える。
- (6) 開始時刻を指定する。  
 上下ボタンで画面の開始時刻に移動する。  
 左右ボタンで年、月、日、時、分、秒に移動し、＋ボタンで数値を指定する。
- (7) 終了時刻を指定する。  
 上下ボタンで画面の終了時刻に移動する。  
 左右ボタンで年、月、日、時、分、秒に移動し、＋ボタンで数値を指定する。
- (8) コピーを開始する。  
 全項目の設定が完了したら、ENTER↓ボタンを押す。  
 SAVE PASSWORD 画面が表示される。

[SAVE PASSWORD]

パスワード  
 入力:       -----

MOVE: ↑ ↓ ← →, SELECT: ↓, VALUE: + -, PAGE: ← →, ESC: [→]

＜＜注意＞＞

このパスワードは、コピー映像を再生する時に要求されるパスワードを設定するもので、通常は設定しない。

パスワードは何も入力せずに、ENTER↓ボタンを押す。

「INPUT PASSWORD OR PRESS ESC」のメッセージが表示され、SAVE PASSWORD 画面に戻る。

ESC ボタンを押す。

「SAVE DEFAULT PASSWORD」、 「PLEASE WAIT」のメッセージが表示され、コピーが開始される。

- (9) コピーが完了する。  
 画面右上にコピーの進捗が%で表示される。  
 100%と表示されたらコピーは完了。  
 映像データと一緒に映像再生ソフト FileViewer.exe も保存される。  
 映像データのファイル名は Dvr-コピーの日付-データ番号.dvr。例: Dvr-20161122-174422.dvr

2016/10/25 13:10:00  
 COPYING (25%)

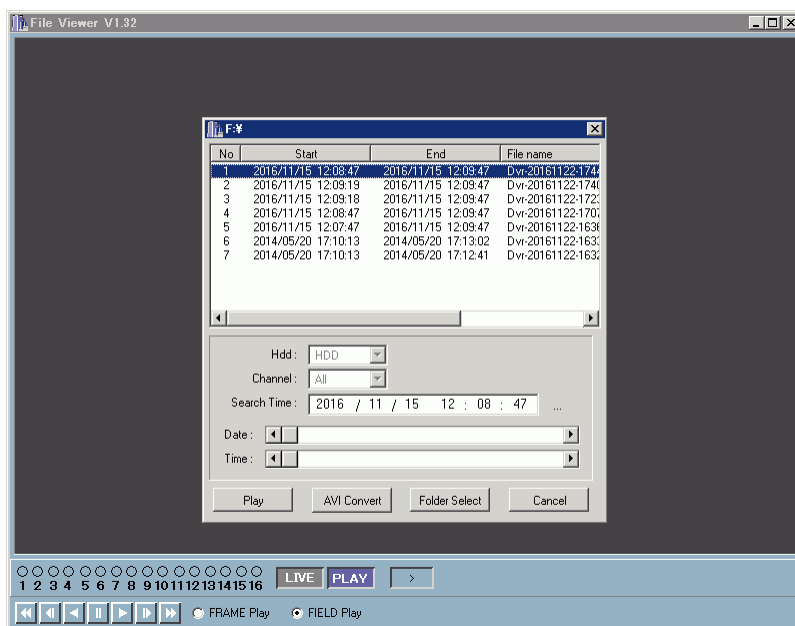
- (10) コピーを途中で中止する。  
 コピー中に COPY ボタンを押す。  
 COPY STOP 画面が表示される。

COPY STOP

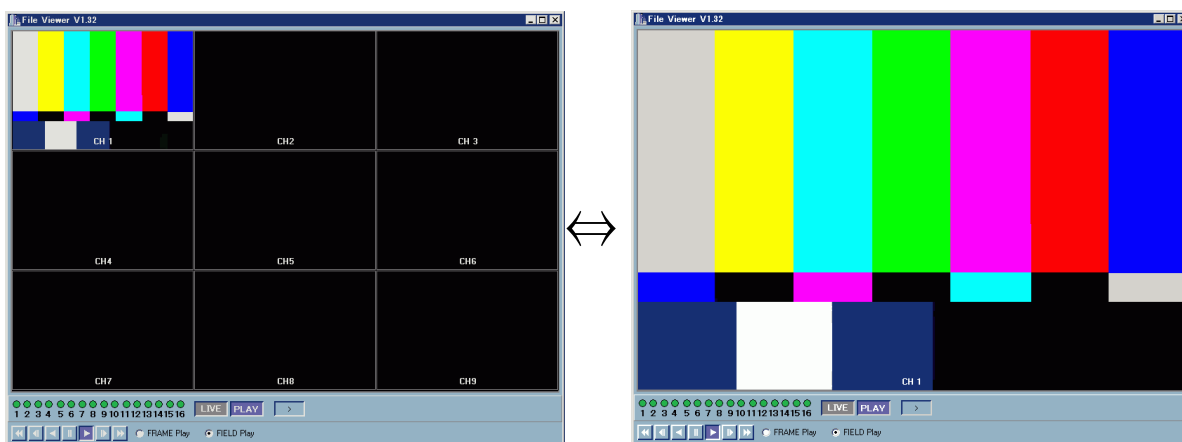
コピー停止?  
 いいえ  
 はい

上下ボタンで「はい」に移動し、ENTER↓ボタンを押す。

- (11) コピーした画像を再生する。  
 コピーしたファイルを PC で表示する。  
 FileViewer.exe を立ち上げる。  
 コピーした映像のリストから再生するデータを選択する。  
 Play ボタンをクリックする。



分割表示画面で任意のチャンネル画面をダブルクリックすると、全画面表示になる。  
 全画面表示で画面をダブルクリックすると、分割表示画面になる。



#### 4-4 メディアの初期化

- (1) メニューのコピー画面でメディア初期化を選択する。



- (2) [+]または[-]ボタンで初期化するメディアを選択する。
- (3) メディア初期化を実行する。




USB メモリーは FAT32 でフォーマットされる。


#### 4-5 マウスの使用

USB 端子にマウスを接続すると、本体のボタンの代わりにメニュー設定ができる。


(1) メニュー表示

 映像画面表示時に右クリック


(2) メニュー選択

 メニュー画面上のアイコンをクリック


(3) 設定項目選択

 メニュー画面の設定項目をクリック

(4) 設定項目の下の階層に入る

 メニュー画面の設定項目をダブルクリック

(5) 設定項目の上の階層に戻る

 メニュー画面の設定項目を右ダブルクリック

(6) 設定値変更

 設定値をクリックし選択、  ホイール上下で設定値変更

## 5. SDR-200

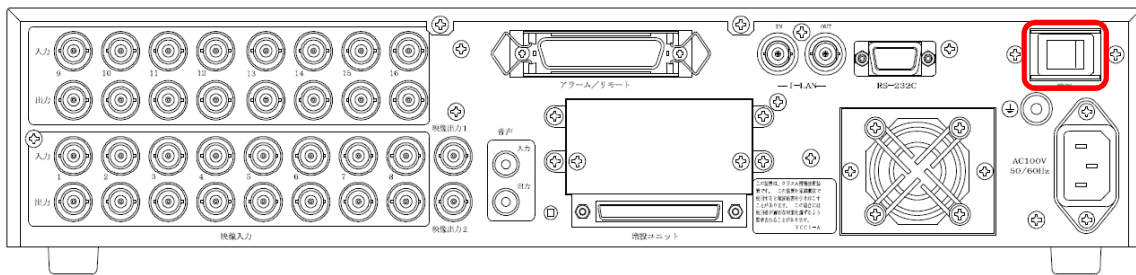
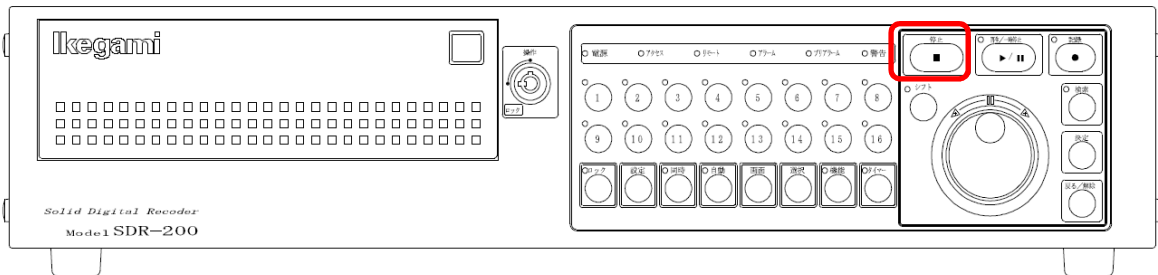
### 5-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

パスワード
なし

### 5-2 電源切/入の方法

#### (1) 電源を切る。

画面左上に●が表示されている場合は録画中なので、本体前面の停止ボタンを2秒以上長押しして録画を停止する。  
本体背面の電源スイッチを切る。



#### (2) 電源を入れる。

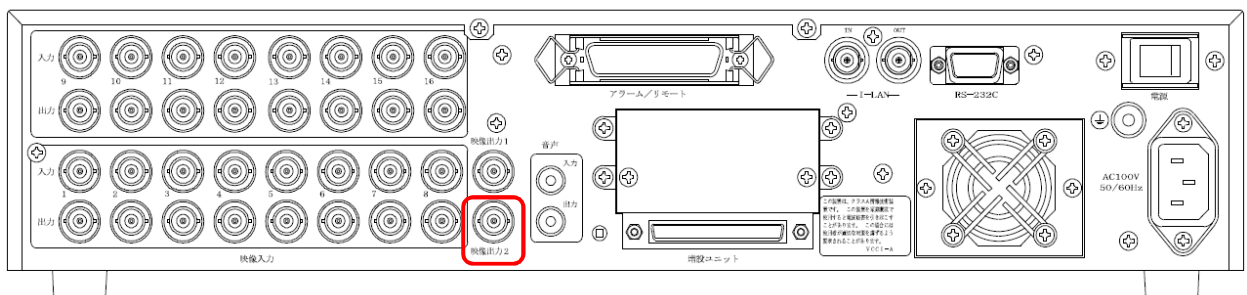
本体背面の電源スイッチを入れる。  
モニターに起動画像が表示される。しばらくすると起動を完了する。

### 5-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

SDR-200には画像データをコピーする機能がない。  
映像出力にビデオレコーダを接続し、SDR-200で映像を再生してビデオレコーダで録画を行う。

#### (1) ビデオレコーダを接続する。

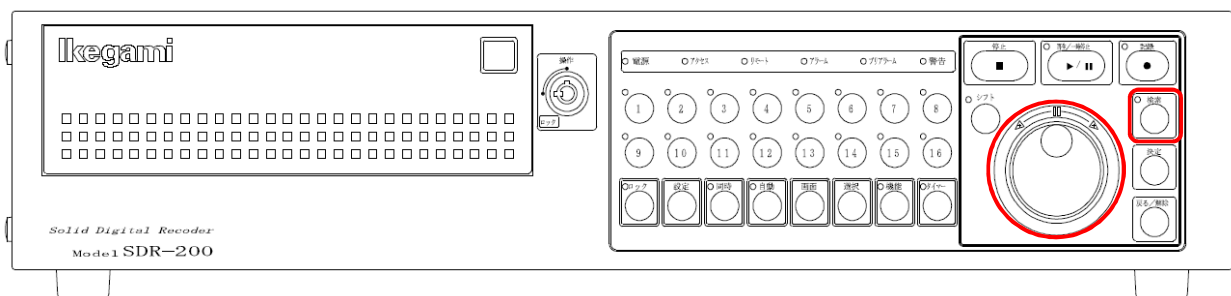
背面の映像出力2とビデオレコーダの映像入力を接続する。



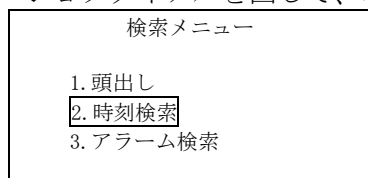
#### (2) 映像を選択する。

[1]～[16]ボタン、[画面]ボタンを押して、ビデオレコーダに録画する映像を選択する。

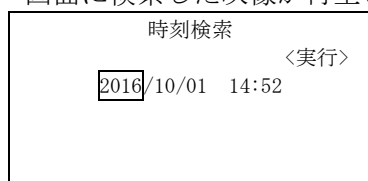
- (3) 検索メニューを表示する。  
 検索ボタンを押して、検索メニューを表示する。



ジョグダイヤルを回して、時刻検索を選択する。ジョグダイヤルを押して決定する。



- (4) 映像を検索する。  
 ジョグダイヤルを押して年を点滅させる。ジョグダイヤルを回して、検索する年に合わせる。  
 ジョグダイヤルを押すと決定され、月が反転する。ジョグダイヤルを押して月を点滅させる。  
 以下同様に年月日時分を合わせる。  
 <実行>が反転したら、ジョグダイヤルを押して検索を実行する。  
 画面に検索した映像が再生される



- (5) ビデオレコーダに録画する。  
 ビデオレコーダの録画操作を行い、録画を開始する。  
 目的の映像録画が完了したら、ビデオレコーダの録画を停止する。  
 SDR-200 の[停止]ボタンを押して、再生を停止する。

## 6. SDR-250

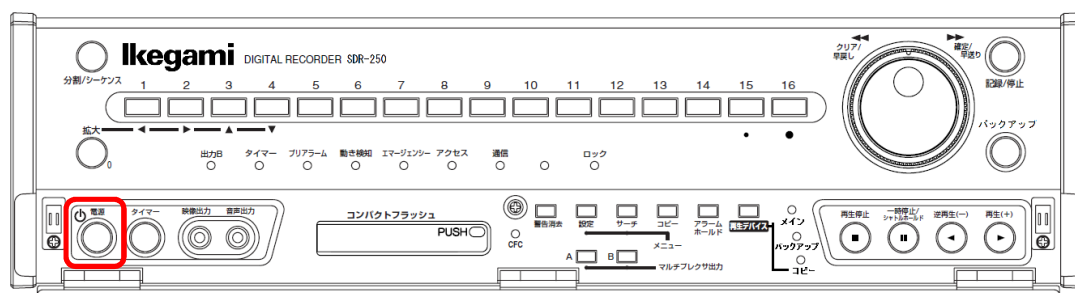
### 6-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

パスワード
なし

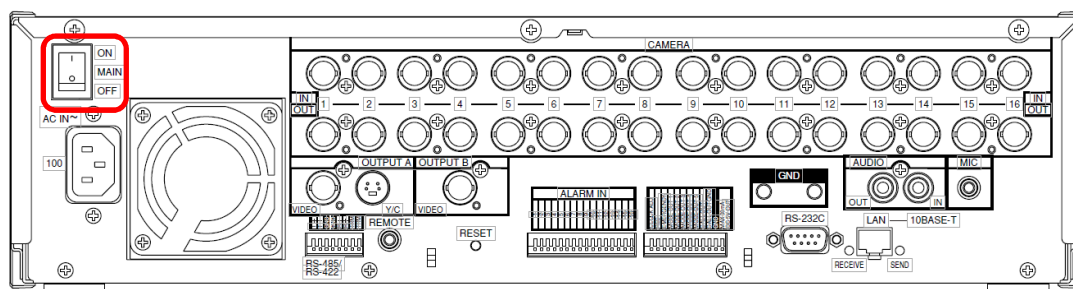
### 6-2 電源切/入の方法

#### (1) 電源を切る。

本体前面下の扉を開く。  
電源ボタンを押す。ボタンが消灯する。



完全に電源を切る場合は、本体背面の MAIN 電源スイッチを切る。



#### (2) 電源を入れる。

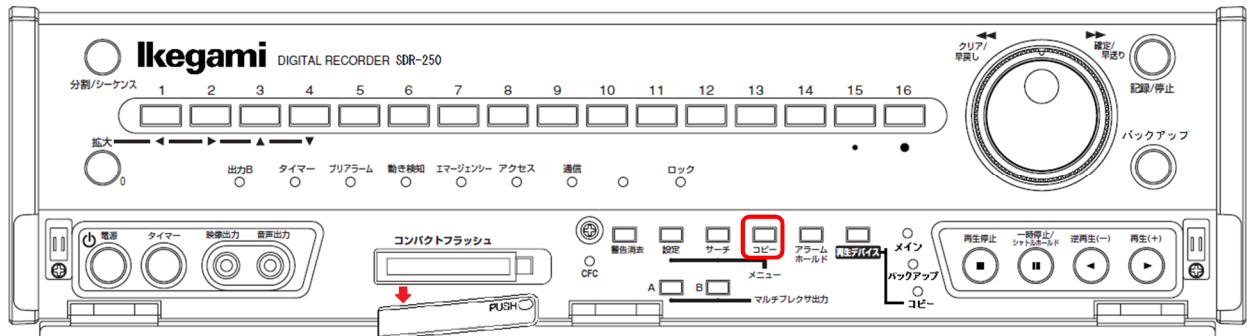
本体背面の MAIN 電源スイッチをを入れる。  
モニターに起動画像が表示される。しばらくすると起動を完了する。  
本体前面の電源ボタンを押す。ボタンが点灯する。

### 6-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

SDR-250 の録画映像のデータをコンパクトフラッシュカード(CFC)にコピーする。  
コピーしたデータは本体のHDDに戻して再生することが出来る。  
オプションのPC再生ソフトウェアがあればPC上で再生することが出来る。

(1) CFC を差し込む。

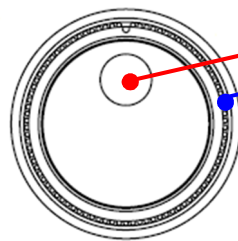
本体前面下の扉を開き、コンパクトフラッシュスロットのカバーを外す。  
スロットにCFCを差し込む。



(2) コピーボタンを押す。

コピー画面が表示される。

<コピー>	
>>転送動作	HDD(メイン)→CFC
モード	上書き
範囲指定	開始・終了
開始	2016-10-01 13:00:00
終了	2016-10-01 13:30:00
実行	



#### ジョグシャトルの操作

中の部分がジョグ

まわりの部分がシャトル

ジョグを回すと[>>]が移動する。

シャトルを右に回すと設定項目が点滅する。

点滅状態でジョグを回して設定を変更する。

シャトルを右に回すと設定が確定する。

(3) コピーの設定をする。

「転送動作」を「HDD(メイン)→CFC」に設定する。

「モード」を「上書き」に設定する。

「範囲指定」を「開始・終了」に設定する。

コピー映像の開始日時、終了日時を設定する。

(4) コピーを実行する。

>>を実行に移動し、シャトルを右に回しコピーを開始する。

(5) CFC を取り出す。

コピーが完了したら、コンパクトフラッシュスロット右のボタンを押して、CFCを取り出す。  
スロットのカバーを元に戻す。



## 7. SDR-301、SDR-304

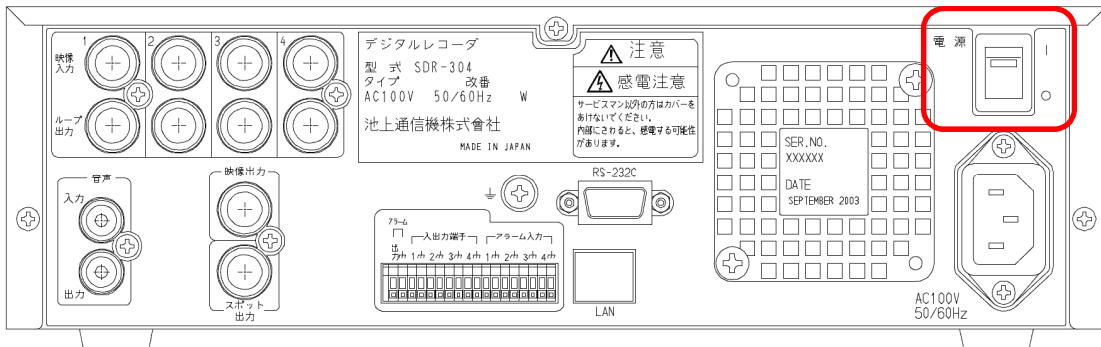
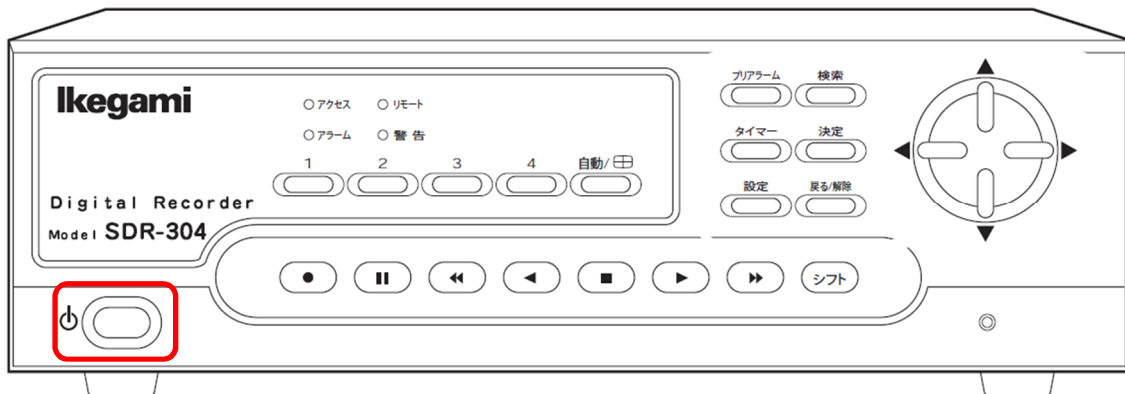
### 7-1 パスワード・ユーザー名・ログイン名・IDの工場設定値

ユーザー名	パスワード
なし	なし

### 7-2 電源切/入の方法

#### (1) 電源を切る。

本体前面の電源スイッチを2秒以上長押しする。  
モニターの画面に「ハードディスクの電源を切りました。」と表示される。  
電源スイッチが点灯から点滅になり、スタンバイ状態になる。  
本体背面の主電源スイッチを切る。  
モニター画面が消えて、前面の電源スイッチが消灯する。



#### (2) 電源を入れる。

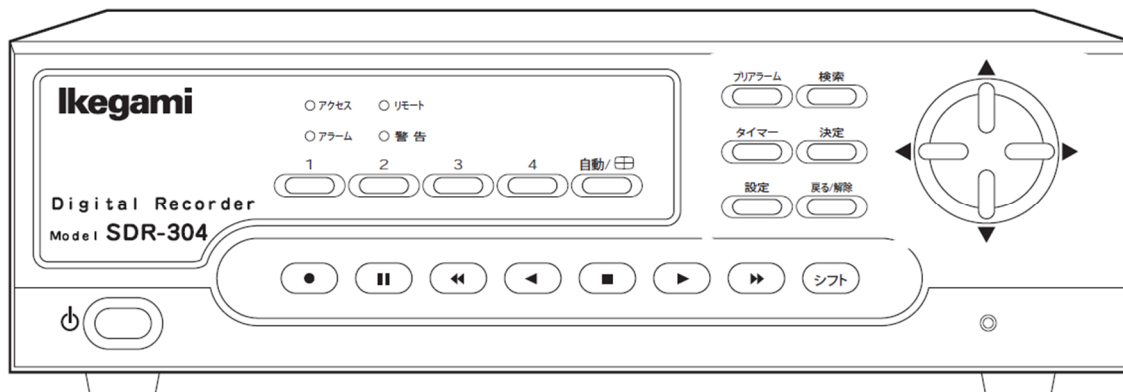
本体背面の主電源スイッチを入れる。  
モニター画面に「起動中です。」と表示される。  
本体前面の電源スイッチが点滅し、スタンバイ状態になる。  
本体前面の電源スイッチを押す。  
モニター画面に「ハードディスクの電源を入れました。」と表示される。  
しばらくすると通常監視画面になる。  
本体前面の電源スイッチが点灯する。

### 7-3 録画映像のバックアップ(コピー)方法

SDR-301 または SDR-304(SDR-30x と表記)には本体に映像データのバックアップ機能がない。  
標準添付ソフト SDR-300 Viewer を使って PC でデータを保存する。

- (1) SDR 本体のネットワーク設定を行う。

[設定]ボタンを押して、設定メニュー画面を表示する。



◀ ▶ ボタンでネットに移動し、[決定]ボタンを押す。

▼ ▲ ボタンでIPアドレスに移動し、[決定]ボタンを押す。

以上の操作を繰り返し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する。

設定が完了したら、[設定]ボタンを押して設定内容を保存する。

設定メニュー	
情報 記録 表示 制御	ネット 時刻 初期化
IPアドレス	IPアドレス取得・手動
DNSサーバー	次のIPアドレスを使用
送信メール	IPアドレス
宛先	192.168.0.10
クライアント	サブネットマスク
	255.255.255.0
	ゲートウェイ
	192.168.0.1
	切断時間：10分

- (2) クライアントを設定する。

設定メニュー画面でクライアントに移動し、[決定]ボタンを押す。

[設定画面へ]に移動し、[決定]ボタンを押す。

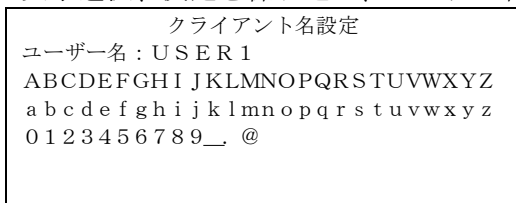
設定メニュー	
情報 記録 表示 制御	ネット 時刻 初期化
IPアドレス	設定画面へ
DNSサーバー	次のIPアドレスを使用
送信メール	IPアドレス
宛先	192.168.0.10
クライアント	サブネットマスク
	255.255.255.0
	ゲートウェイ
	192.168.0.1
	切断時間：10分

クライアント設定画面が表示される。

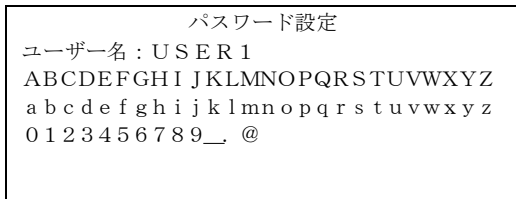
クライアント		
機能	ユーザー名	パスワード
1 : ON :	USER1	: 1234
2 : OFF :	:	:
3 : OFF :	:	:
.	.	.
.	.	.

1の機能をONにし、ユーザー名の欄に移動し、[決定]ボタンを押す。

クライアント名設定画面が表示される。  
文字選択、決定を繰り返し、ユーザー名を設定する。

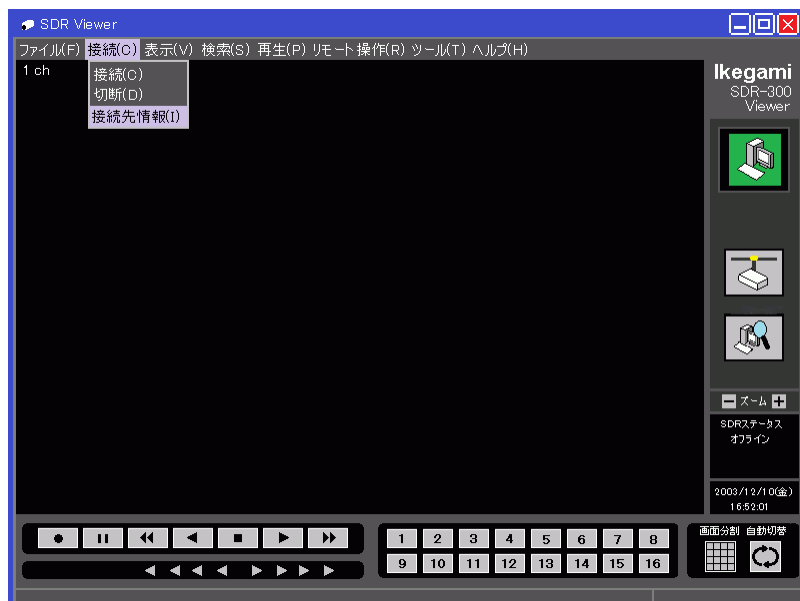


同様にパスワードを設定する。



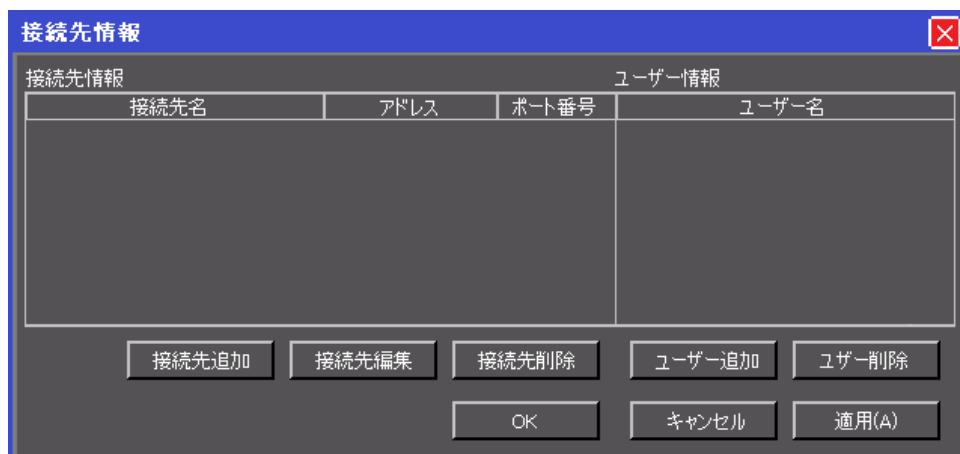
設定が完了したら、[設定]ボタンを押して設定内容を保存する。

- (3) PC と SDR-30x をネットワークで接続する。  
SDR-300 Viewer がインストールされた PC と SDR-301、SDR-304 をネットワークで接続する。
- (4) SDR-300 Viewer を起動する。
- (5) 接続先情報を登録する。  
メニュー／接続／接続先情報を選択し、接続先情報画面を表示する。



登録済みの接続先が表示される。

接続する SDR-30x が登録されていない場合、[接続先登録追加]ボタンをクリックする。



接続先情報登録画面が表示される。

- 接続先名：任意
- 接続アドレス：SDR-30x の IP アドレス
- ポート番号：443

を入力し、[OK]ボタンをクリックする。

接続先情報登録

接続先名: SDR-304

接続アドレス: 192.168.0.10

ポート番号: 443

OK キャンセル

接続先情報画面に追加した接続情報が表示される。

接続先情報

接続先名	アドレス	ポート番号	ユーザー名
SDR-304	192.168.0.10	443	USER1

接続先追加 接続先編集 接続先削除 ユーザー追加 ユーザー削除

OK キャンセル 適用(A)

ユーザー名の表示が無い場合は、[ユーザー追加]ボタンをクリックする。  
ユーザー登録画面が表示される。ユーザー名を入力し[OK]ボタンをクリックする。  
ユーザー名は SDR-30x 本体で登録したユーザー名とする。

ユーザー登録

ユーザー名: USER1

OK キャンセル

接続先情報画面の[適用]ボタンをクリックし、入力した情報を登録する。  
[OK]ボタンをクリックし、接続先情報画面を閉じる。

- (6) SDR-30x に接続する。  
 メイン画面の接続ボタンをクリックする。





ユーザー認証画面が表示される。  
 接続先、ユーザー名を選択し、SDR-30x 本体で登録してあるパスワードを入力する。  
 接続ボタンをクリックする。



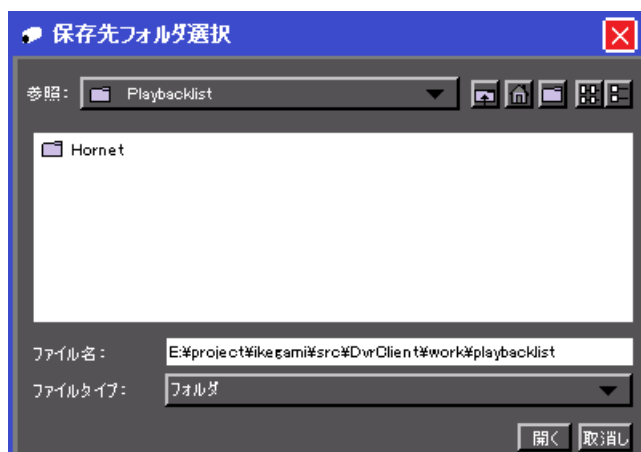
ライブ映像が表示される。



-  未接続状態
-  ライブ映像表示
-  録画映像表示

(7) 保存先フォルダを設定する。


メニュー／ファイル／保存先フォルダを選択し、保存先フォルダ選択画面を表示する。  
参照で目的のフォルダを指定し、[開く]ボタンをクリックする。  
保存先フォルダが設定される。





(8) 再生する。



再生ボタン  をクリックする。

一番古い録画映像から再生される。

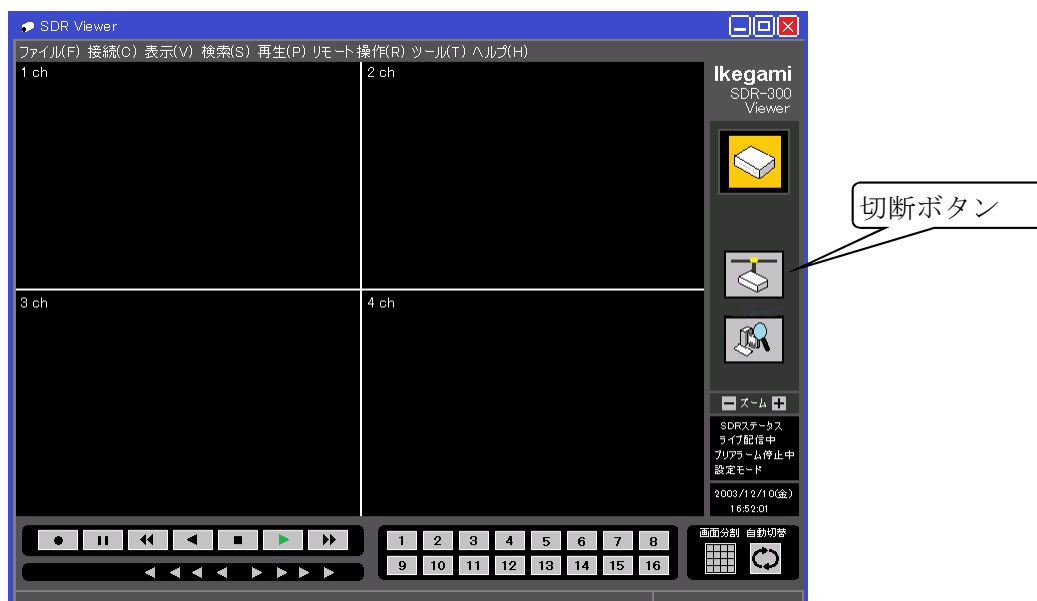
早送りボタン  をクリックすると、2倍→5倍→10倍→MAX→2倍→と再生速度が変わる。

逆再生ボタン  をクリックすると逆再生する。



早戻しボタン  をクリックすると、2倍→5倍→10倍→MAX→2倍→と逆再生速度が変わる。

一時停止ボタン  をクリックすると、停止画面になる 。


以上のボタン操作で目的の開始映像を検索する。



(9) 記録する。

記録ボタン  をクリックする。記録中の表示にかわる 。

目的の終了映像まで記録したら、 ボタンをクリックし記録を停止する。

停止ボタン  をクリックする。

切断ボタンをクリックする。

(10) 記録映像を再生する。

再生リストボタンをクリックする。



(11) 再生するデータを選択する。

ローカル再生リストで目的の映像を選択する。再生ボタンをクリックする。



映像が再生される。



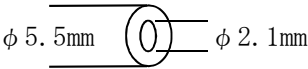
## 8. ACアダプタの型名

8-1 SDR-409、409D、416D

(1) 型名： SPU65-105-P42M002-M610

(2) 仕様

出力電圧	最大電流	最大電力	L(mm)	W(mm)	H(mm)	質量(g)
12VDC	6.67A	80W	168	78	44.5	750

(3) DCプラグ   $\phi 5.5\text{mm}$   $\phi 2.1\text{mm}$

8-2 SDR-108HV、SDR-116HV、SDR-208HV、SDR-216HV

(1) 型名： AVISDR100200-ADAPTER (メーカー型名：NB-90A19)

(2) 仕様

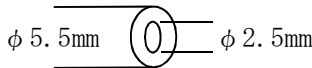
出力電圧	最大電流	最大電力	L(mm)	W(mm)	H(mm)	質量(g)
19VDC	4.74A	90W	132	56	30	300

8-3 ULM-173、ULM-193

(1) 型名： DSA-50PFA-121

(2) 仕様

出力電圧	最大電流	最大電力	L(mm)	W(mm)	H(mm)	質量(g)
12VDC	4.16A	50W	121	56	34	256

(3) DCプラグ   $\phi 5.5\text{mm}$   $\phi 2.5\text{mm}$

8-4 変換ケーブル

SDR-409、409D、416D用ACアダプタのDCプラグをULM-173、ULM-193に使えるよう、変換するケーブル。

(1) 型名： DCCABLE-2.1MMJ-2.5MMP (C-13429)

